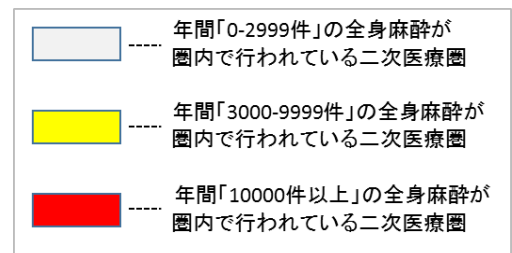
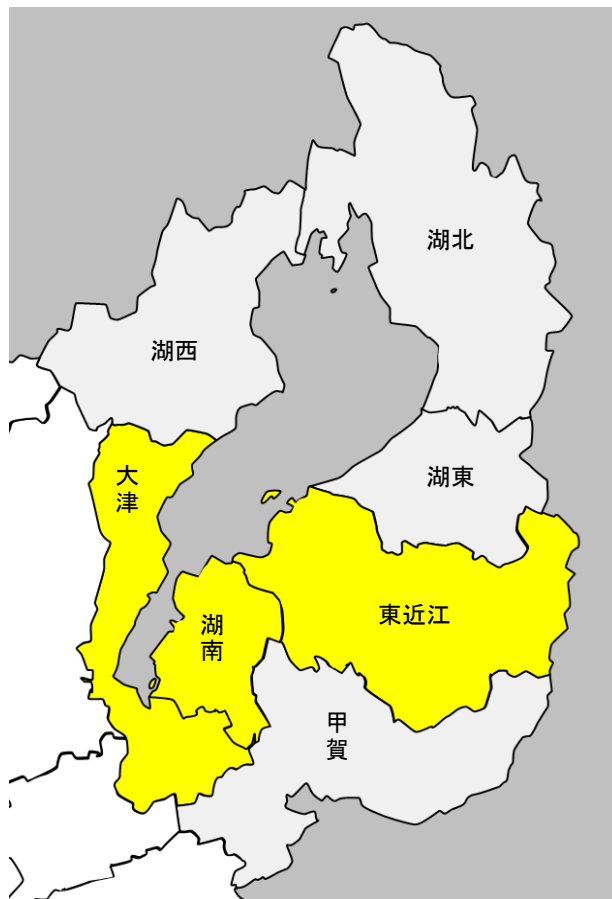


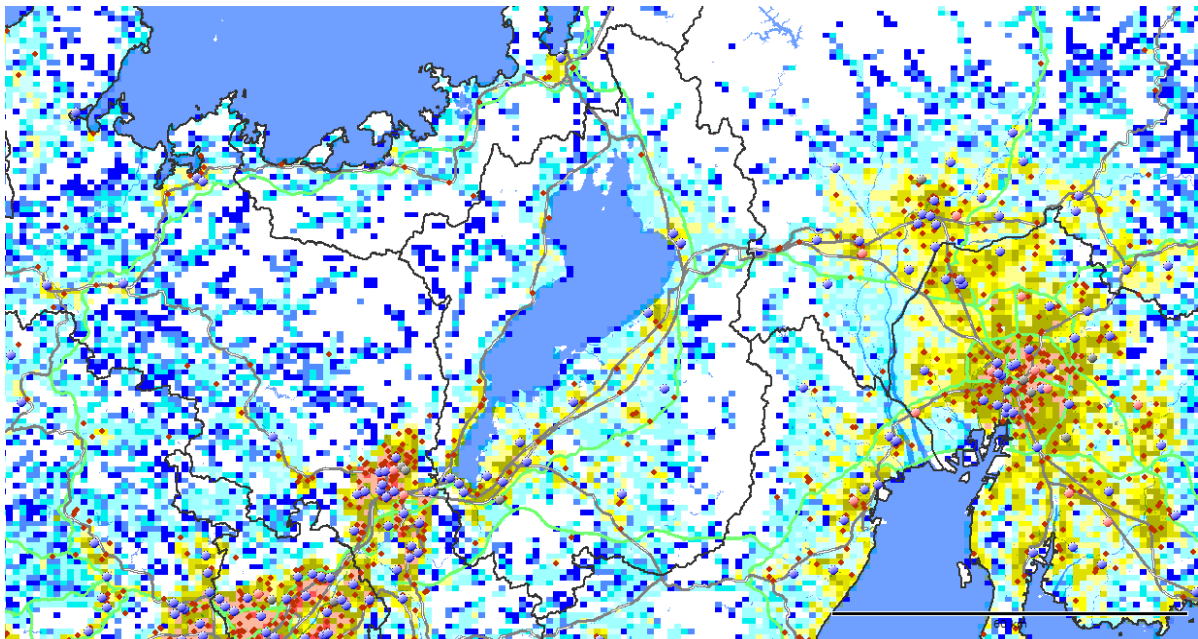
# 25. 滋賀県



目次

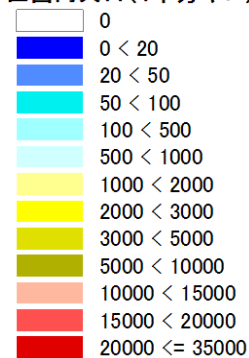
滋賀県	25	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	25	-	8
1. 大津医療圏	25	-	20
2. 湖南医療圏	25	-	25
3. 甲賀医療圏	25	-	30
4. 東近江医療圏	25	-	35
5. 湖東医療圏	25	-	40
6. 湖北医療圏	25	-	45
7. 湖西医療圏	25	-	50

# 25. 滋賀県

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)

1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (滋賀県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 滋賀県は、総人口約1,413千人(2015年)、面積4,017km<sup>2</sup>、人口密度は352人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 滋賀県の総人口は2025年に1,395千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1,304千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の160千人が、2025年にかけて223千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には240千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 滋賀県の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値51)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 滋賀県の一人当たり急性期医療密度指数は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は0.77で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数49、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 滋賀県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,698人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,146床(偏差値47)、高齢者住宅等が4,552床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,656人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,661人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-56%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

滋賀県の総人口は、2005年1,380,361人が、2015年に1,412,916人と2%増加し、2025年の人口が1,394,593人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

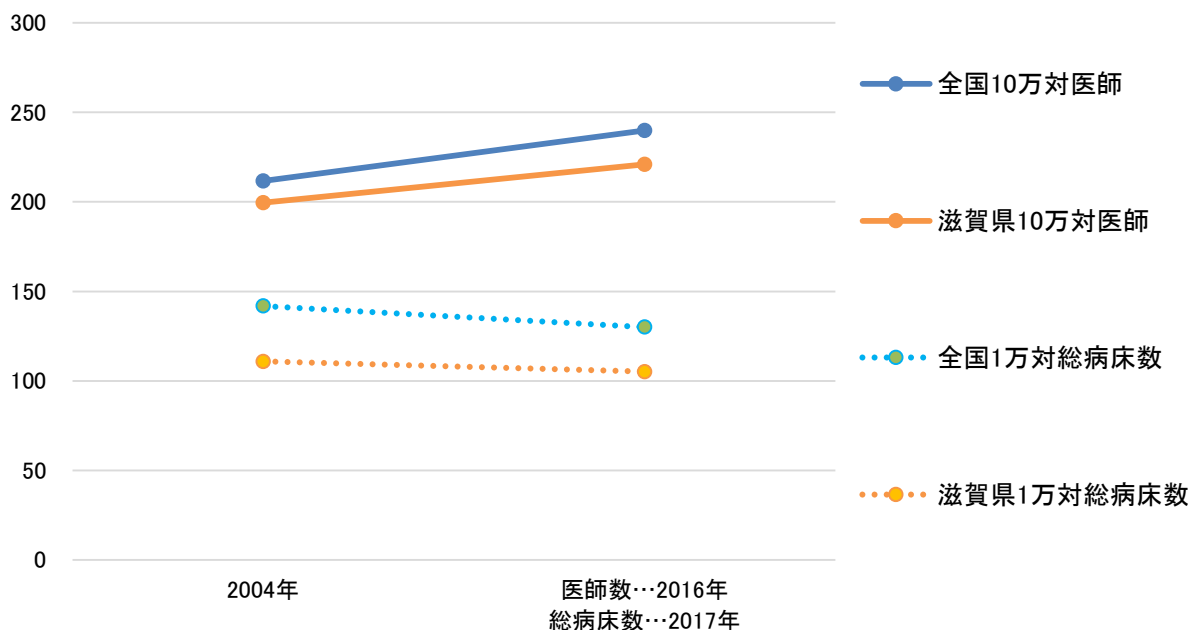
2004年の病院数が63(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2017年に57(人口10万人当たり4病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が910(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に1,070(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、160診療所が増加した。

2004年の総病床数が15,303床(人口1万人当たり111(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に14,857床(人口1万人当たり105(全国平均130)偏差値45)と、446床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

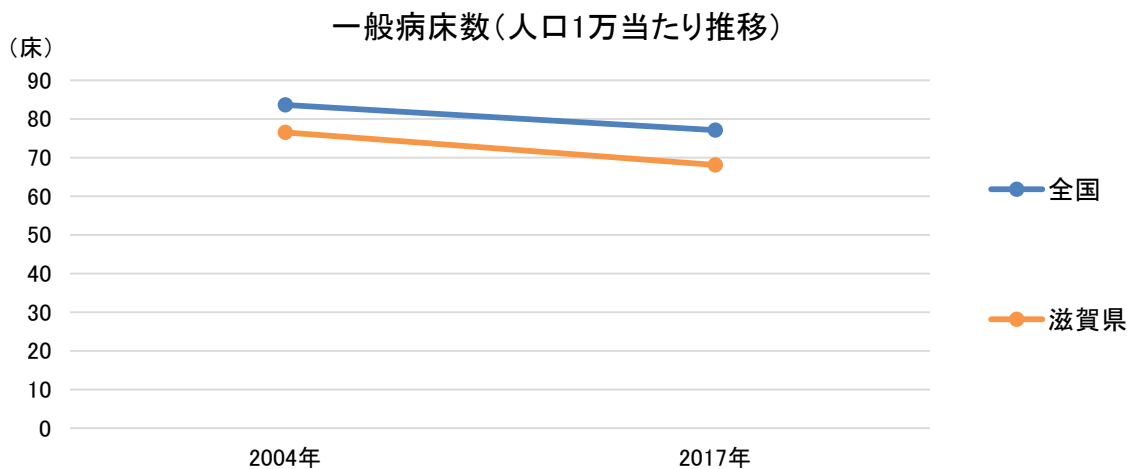
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,755人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に3,121人(人口10万人当たり221人(全国平均240人)偏差値48)と、366人の増加、率にして13%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



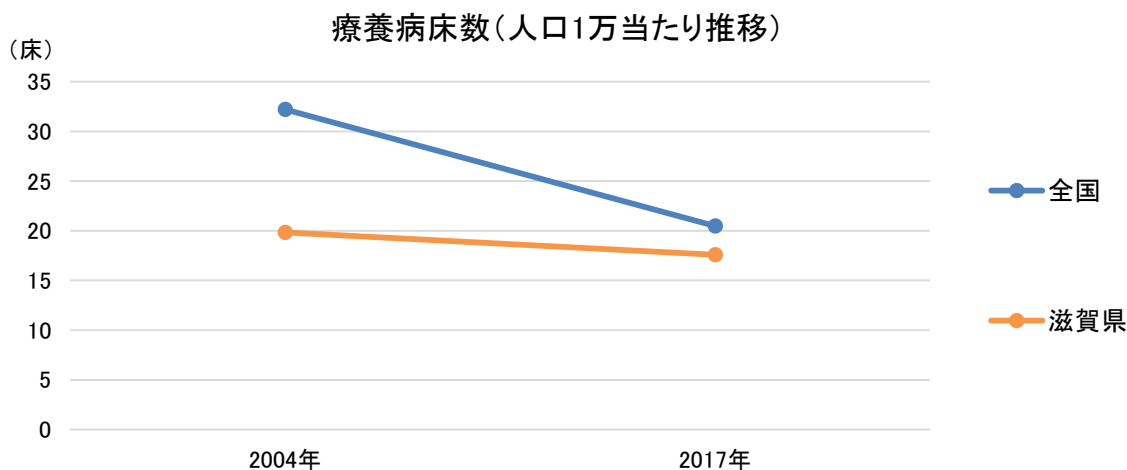
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が10,562床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値47)であったが、2017年に9,618床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値47)と、944床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



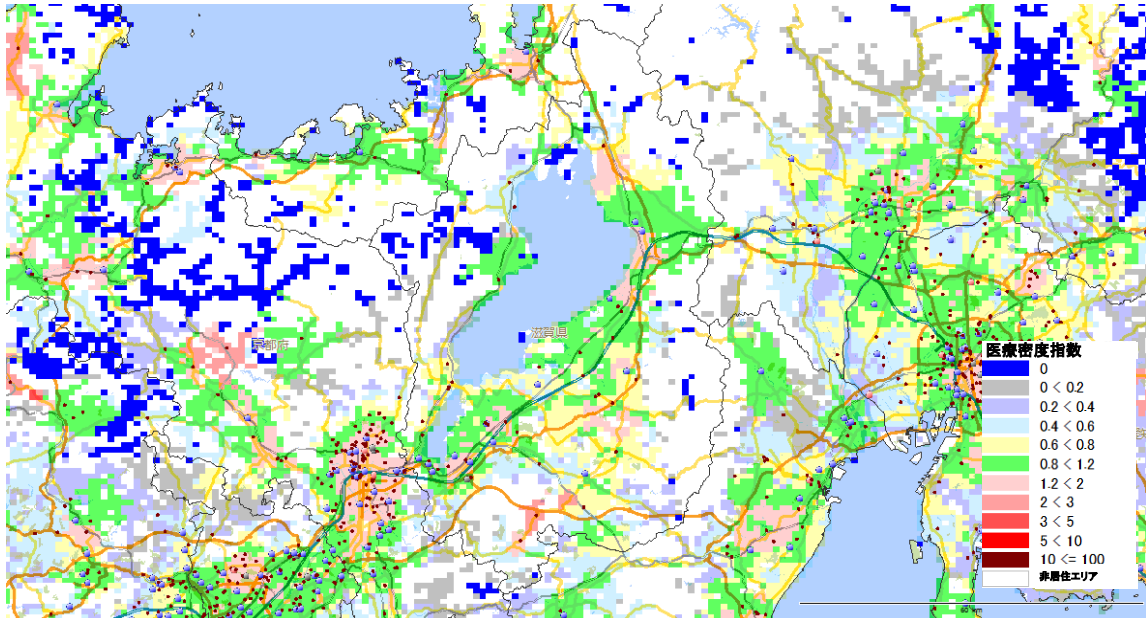
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,314床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に2,813床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値47)と、499床の増加、率にして22%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



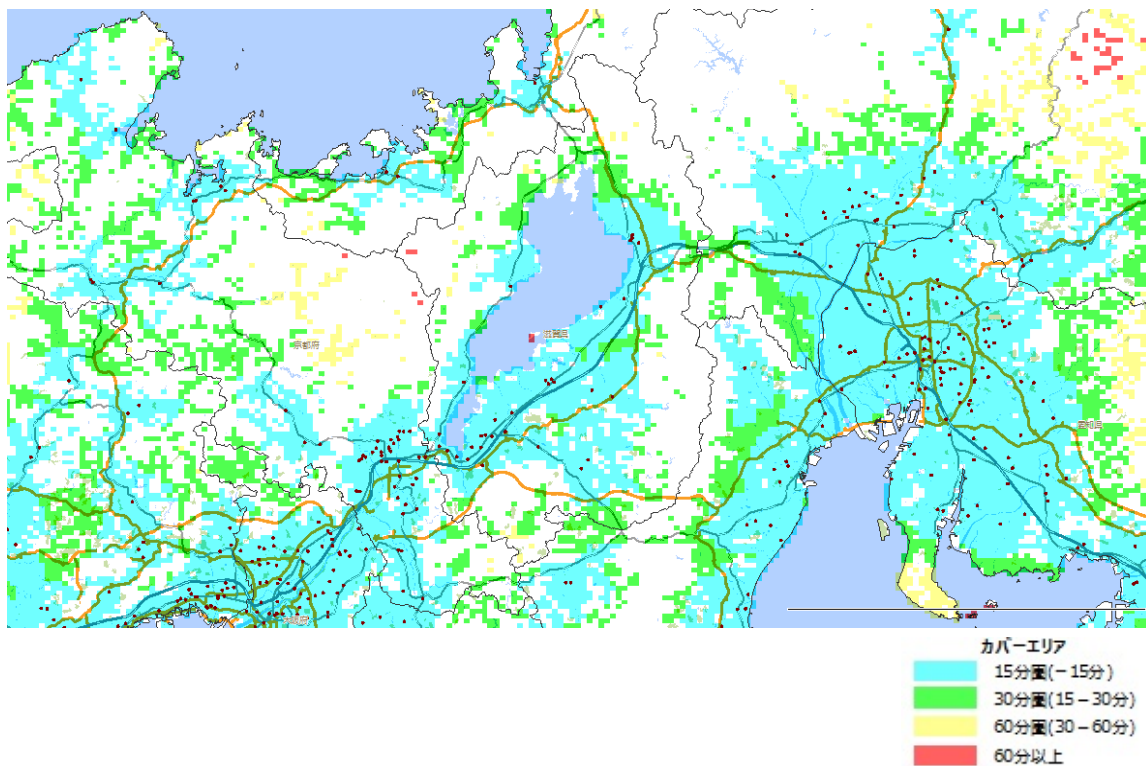
## (滋賀県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 25-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
滋賀県	1,413	26位	4,017	38位	351.7		24%	1,395	1,304	160	223	240	-1%	-7%	39%	8%
大津	341	24%	465	12%	734.0	地方都市型	25%	341	323	38	57	64	0%	-5%	50%	12%
湖南	334	24%	256	6%	1,301.7	地方都市型	20%	350	349	29	46	50	5%	0%	59%	9%
甲賀	145	10%	552	14%	263.0	地方都市型	24%	138	123	16	22	25	-5%	-11%	38%	14%
東近江	230	16%	728	18%	315.7	地方都市型	25%	220	199	28	37	39	-4%	-10%	32%	5%
湖東	156	11%	392	10%	398.6	地方都市型	24%	155	148	19	24	26	-1%	-5%	26%	8%
湖北	157	11%	931	23%	168.5	過疎地域型	27%	146	127	22	26	26	-7%	-13%	18%	0%
湖西	50	4%	693	17%	72.2	過疎地域型	32%	45	36	8	10	10	-10%	-20%	25%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 25-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
滋賀県	0.95	0.77	11,683	18,202	-55.8%
大津	0.95	0.57	2,921	4,707	-61.2%
湖南	1.07	0.52	2,216	3,758	-69.6%
甲賀	0.86	1.21	1,316	1,815	-37.9%
東近江	0.78	1.12	1,904	2,980	-56.5%
湖東	1.04	0.53	1,257	1,943	-54.6%
湖北	1.08	0.72	1,497	2,188	-46.1%
湖西	0.54	0.79	572	811	-41.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 25-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
滋賀県	352	51	0.991	138	52	1.010	191	52	0.988	246	48
大津	357	52	1.001	142	53	1.034	192	52	0.990	253	50
湖南	353	52	0.999	135	50	0.993	195	54	1.012	228	43
甲賀	347	50	0.973	142	53	1.035	182	47	0.939	231	44
東近江	362	54	1.008	146	54	1.059	192	52	0.981	230	43
湖東	325	45	0.944	123	47	0.930	181	46	0.967	257	51
湖北	357	52	0.998	136	51	0.991	198	55	1.015	281	58
湖西	357	52	0.988	137	51	0.984	194	53	0.989	258	52

出典 <一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
<一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで)  
※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。

資\_図表 25-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
滋賀県	914	50	0.997	480	52	1.043	408	45	0.962
大津	961	53	1.063	508	55	1.126	423	49	1.008
湖南	918	50	1.013	476	52	1.062	414	47	0.974
甲賀	898	48	0.974	490	53	1.063	383	39	0.897
東近江	938	52	1.014	507	55	1.087	406	45	0.953
湖東	905	49	0.976	477	52	1.024	405	44	0.947
湖北	855	45	0.912	414	45	0.874	415	47	0.963
湖西	824	42	0.902	432	47	0.932	366	34	0.879

出典 <一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資\_図表 25-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
滋賀県	57	0.7%	4.0	44	1,070	1.1%	76	48
大津	15	26%	4.4	45	288	27%	84	52
湖南	13	23%	3.9	44	274	26%	82	51
甲賀	7	12%	4.8	46	89	8%	61	40
東近江	11	19%	4.8	46	146	14%	64	41
湖東	4	7%	2.6	41	116	11%	74	47
湖北	4	7%	2.5	41	119	11%	76	48
湖西	3	5%	6.0	49	38	4%	76	48

出典 平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月

資\_図表 25-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
滋賀県	1,070	1.1%	76	48	1,031	1.1%	73	49	39	0.5%	2.8	45
大津	288	27%	84	52	276	27%	81	54	12	31%	3.5	46
湖南	274	26%	82	51	263	26%	79	52	11	28%	3.3	46
甲賀	89	8%	61	40	85	8%	59	42	4	10%	2.8	45
東近江	146	14%	64	41	139	13%	60	43	7	18%	3.0	46
湖東	116	11%	74	47	114	11%	73	49	2	5%	1.3	43
湖北	119	11%	76	48	117	11%	75	50	2	5%	1.3	43
湖西	38	4%	76	48	37	4%	74	50	1	3%	2.0	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 25-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(9.4)	1,653,234		1,301	(53.7)
滋賀県	14,351	0.9%	1,016	46	506	0.5%	36	46	14,857	0.9%	1,052	45
大津	4,035	28%	1,183	49	123	24%	36	46	4,158	28%	1,219	48
湖南	3,023	21%	906	43	151	30%	45	47	3,174	21%	951	43
甲賀	1,538	11%	1,059	47	65	13%	45	47	1,603	11%	1,104	46
東近江	2,630	18%	1,144	48	90	18%	39	46	2,720	18%	1,184	48
湖東	1,279	9%	818	42	38	8%	24	44	1,317	9%	843	41
湖北	1,436	10%	915	44	34	7%	22	44	1,470	10%	937	43
湖西	410	3%	820	42	5	1%	10	43	415	3%	830	41
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 25-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(22.3)	325,228		256	(20.3)	331,700		261	(21.0)
滋賀県	9,129	1.0%	646	48	2,796	0.9%	198	47	2,329	0.7%	165	45
大津	2,426	27%	711	50	656	23%	192	47	908	39%	266	50
湖南	2,311	25%	692	50	467	17%	140	44	239	10%	72	41
甲賀	828	9%	570	44	299	11%	206	48	407	17%	280	51
東近江	1,336	15%	581	45	868	31%	378	56	406	17%	177	46
湖東	900	10%	576	44	245	9%	157	45	120	5%	77	41
湖北	1,022	11%	651	48	161	6%	103	42	249	11%	159	45
湖西	306	3%	612	46	100	4%	200	47	0	0%	0	38
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 25-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
滋賀県	808	1.0%	57	49	743	1.0%	53	49
大津	171	21%	50	47	108	15%	32	46
湖南	199	25%	60	49	146	20%	44	48
甲賀	146	18%	101	58	72	10%	50	49
東近江	130	16%	57	48	119	16%	52	49
湖東	70	9%	45	46	91	12%	58	50
湖北	52	6%	33	43	145	20%	92	55
湖西	40	5%	80	54	62	8%	124	60
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 25-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
滋賀県	6,424	5,897	211	7,889	3,229	2,585	64.6%	58	7.5%	51
大津	2,322	2,172	50	1,698	251	606	89.6%	67	7.6%	51
湖南	735	635	0	2,265	1,676	467	27.5%	44	0.0%	48
甲賀	633	629	0	905	199	299	76.0%	62	0.0%	48
東近江	829	809	0	1,801	527	868	60.6%	56	0.0%	48
湖東	438	424	0	841	476	245	47.1%	51	0.0%	48
湖北	1,257	1,022	161	179	0	0	100.0%	71	100.0%	92
湖西	210	206	0	200	100	100	67.3%	59	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 25-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
滋賀県	20,340	0.5%	1,440	43	10,980	1.2%	777	52
大津	6,024	30%	1,767	45	2,940	27%	862	55
湖南	6,780	33%	2,031	46	2,892	26%	867	55
甲賀	708	3%	488	40	1,068	10%	736	50
東近江	2,700	13%	1,175	42	1,488	14%	648	47
湖東	1,344	7%	860	41	1,044	10%	668	48
湖北	2,280	11%	1,453	44	1,488	14%	948	58
湖西	504	2%	1,007	42	60	1%	120	27
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 25-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
滋賀県	3,121	1.0%	221	48	2,129	1.1%	151	49	992	1.0%	70	46
大津	1,216	39%	357	63	932	44%	273	66	284	29%	83	51
湖南	697	22%	209	47	442	21%	132	46	255	26%	76	48
甲賀	198	6%	136	38	123	6%	85	40	75	8%	52	38
東近江	420	13%	183	44	277	13%	121	45	143	14%	62	42
湖東	231	7%	148	40	125	6%	80	39	106	11%	68	45
湖北	287	9%	183	44	186	9%	119	44	101	10%	64	43
湖西	72	2%	144	39	44	2%	88	40	28	3%	56	39
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 25-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
滋賀県	230	1.0%	16.3	48	179	1.3%	12.7	54	125	1.1%	8.8	50
大津	96	42%	28.2	61	69	39%	20.2	70	48	38%	14.1	63
湖南	47	20%	14.1	46	54	30%	16.2	62	32	26%	9.6	52
甲賀	13	6%	9.0	40	8	4%	5.5	39	10	8%	6.9	45
東近江	27	12%	11.7	43	21	12%	9.1	47	14	11%	6.1	43
湖東	17	7%	10.9	43	12	7%	7.7	44	10	8%	6.4	44
湖北	25	11%	15.9	48	12	7%	7.6	44	10	8%	6.4	44
湖西	5	2%	10.0	42	3	2%	6.0	40	1	1%	2.0	33
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 25-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
滋賀県	51	0.9%	3.6	46	89	0.9%	6.3	46	85	1.1%	6.0	50
大津	19	37%	5.6	55	36	40%	10.6	59	36	42%	10.6	67
湖南	13	25%	3.9	48	24	27%	7.2	48	23	27%	6.9	53
甲賀	3	6%	2.1	39	4	4%	2.8	35	6	7%	4.1	43
東近江	5	10%	2.2	40	12	13%	5.2	42	8	9%	3.5	40
湖東	7	14%	4.5	50	5	6%	3.2	36	6	7%	3.8	42
湖北	3	6%	1.9	38	6	7%	3.8	38	4	5%	2.5	37
湖西	1	2%	2.0	39	2	2%	4.0	39	2	2%	4.0	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 25-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
滋賀県	81	0.9%	5.7	46	210	1.0%	14.9	47	175	1.1%	12.4	49
大津	30	37%	8.8	55	85	40%	24.9	62	57	33%	16.7	58
湖南	25	31%	7.5	51	48	23%	14.4	47	50	29%	15.0	54
甲賀	5	6%	3.4	39	13	6%	9.0	39	16	9%	11.0	46
東近江	5	6%	2.2	35	30	14%	13.1	45	24	14%	10.4	45
湖東	3	4%	1.9	35	13	6%	8.3	38	10	6%	6.4	36
湖北	13	16%	8.3	53	16	8%	10.2	41	12	7%	7.6	39
湖西	0	0%	0	29	5	2%	10.0	41	6	3%	12.0	48
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 25-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
滋賀県	56	0.9%	4.0	46	73	1.1%	5.2	49	60	1.1%	4.2	49
大津	25	45%	7.3	62	25	34%	7.3	59	22	37%	6.5	56
湖南	10	18%	3.0	42	18	25%	5.4	50	14	23%	4.2	49
甲賀	2	4%	1.4	34	2	3%	1.4	33	5	8%	3.4	47
東近江	10	18%	4.4	48	10	14%	4.4	46	6	10%	2.6	44
湖東	3	5%	1.9	37	10	14%	6.4	55	4	7%	2.6	44
湖北	5	9%	3.2	43	7	10%	4.5	46	8	13%	5.1	52
湖西	1	2%	2.0	37	1	1%	2.0	36	1	2%	2.0	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 25-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
滋賀県	78	1.1%	5.5	50	21	1.3%	1.5	52	38	1.0%	2.7	48
大津	40	51%	11.7	69	6	29%	1.8	55	20	53%	5.9	65
湖南	19	24%	5.7	50	8	38%	2.4	62	11	29%	3.3	52
甲賀	2	3%	1.4	37	0	0%	0	37	2	5%	1.4	42
東近江	7	9%	3.0	42	3	14%	1.3	50	3	8%	1.3	41
湖東	3	4%	1.9	39	1	5%	0.6	44	0	0%	0	34
湖北	6	8%	3.8	45	3	14%	1.9	57	2	5%	1.3	41
湖西	1	1%	2.0	39	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 25-18 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
滋賀県	19	0.9%	1.3	47	24	1.0%	1.7	48
大津	5	26%	1.5	48	10	42%	2.9	57
湖南	3	16%	0.9	44	7	29%	2.1	51
甲賀	1	5%	0.7	42	1	4%	0.7	41
東近江	2	11%	0.9	44	4	17%	1.7	48
湖東	3	16%	1.9	52	0	0%	0	36
湖北	3	16%	1.9	52	1	4%	0.6	40
湖西	2	11%	4.0	68	1	4%	2.0	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 25-19 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
滋賀県	11,517	1.0%	815	47	9,707	1.1%	687	49	1,810	0.8%	128	43
大津	3,199	28%	938	51	2,792	29%	819	54	407	22%	119	42
湖南	2,813	24%	843	48	2,302	24%	690	49	511	28%	153	47
甲賀	1,021	9%	703	43	834	9%	575	44	186	10%	128	43
東近江	1,730	15%	753	45	1,481	15%	644	47	249	14%	108	40
湖東	1,032	9%	660	42	857	9%	548	43	175	10%	112	41
湖北	1,413	12%	901	50	1,192	12%	759	51	222	12%	141	45
湖西	309	3%	617	40	249	3%	499	41	59	3%	119	42
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 25-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
滋賀県	1,226	0.9%	87	46	3,100	1.0%	219	48
大津	278	23%	82	45	855	28%	251	51
湖南	306	25%	92	47	881	28%	264	53
甲賀	159	13%	109	50	322	10%	222	48
東近江	223	18%	97	48	386	12%	168	43
湖東	103	8%	66	42	304	10%	195	46
湖北	87	7%	56	41	265	9%	169	43
湖西	70	6%	140	55	87	3%	174	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 25-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
滋賀県	148	1.0%	0.9	51	10	0.7%	0.1	47	106	1.0%	0.7	49
大津	57	39%	1.5	64	3	30%	0.1	49	25	24%	0.7	49
湖南	30	20%	1.0	54	1	10%	0.0	43	23	22%	0.8	56
甲賀	6	4%	0.4	39	2	20%	0.1	56	12	11%	0.7	53
東近江	25	17%	0.9	50	1	10%	0.0	43	13	12%	0.5	40
湖東	6	4%	0.3	37	1	10%	0.1	46	11	10%	0.6	46
湖北	16	11%	0.7	47	1	10%	0.0	44	18	17%	0.8	57
湖西	8	5%	1.0	52	1	10%	0.1	55	4	4%	0.5	41
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 25-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
滋賀県	13,698	0.8%	86	39	9,146	0.9%	57	47	4,552	0.7%	28	41
大津	3,427	25%	90	41	1,639	18%	43	35	1,788	39%	47	53
湖南	2,791	20%	97	46	1,898	21%	66	54	893	20%	31	43
甲賀	1,546	11%	96	45	1,175	13%	73	59	371	8%	23	37
東近江	2,058	15%	73	32	1,643	18%	59	48	415	9%	15	32
湖東	1,616	12%	87	40	974	11%	52	43	642	14%	35	45
湖北	1,600	12%	73	31	1,317	14%	60	49	283	6%	13	31
湖西	660	5%	79	35	500	5%	60	49	160	4%	19	35
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 25-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
滋賀県	2,808	0.8%	18	42	5,981	1.0%	37	52	357	0.6%	2.2	46
大津	449	16%	12	32	1,163	19%	30	45	27	8%	0.7	43
湖南	566	20%	20	45	1,232	21%	43	58	100	28%	3.5	50
甲賀	370	13%	23	51	755	13%	47	62	50	14%	3.1	49
東近江	615	22%	22	49	908	15%	32	47	120	34%	4.3	52
湖東	200	7%	11	30	714	12%	38	53	60	17%	3.2	49
湖北	448	16%	20	46	869	15%	40	54	0	0%	0	41
湖西	160	6%	19	44	340	6%	41	56	0	0%	0	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 25-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
滋賀県	763	0.3%	4.8	41	0	0.0%	0	43	1,724	0.9%	10.8	47
大津	670	88%	17.5	53	0		0	43	612	35%	16.0	56
湖南	40	5%	1.4	38	0		0	43	278	16%	9.7	45
甲賀	0	0%	0	37	0		0	43	141	8%	8.7	44
東近江	0	0%	0	37	0		0	43	261	15%	9.3	45
湖東	53	7%	2.9	39	0		0	43	180	10%	9.7	45
湖北	0	0%	0	37	0		0	43	180	10%	8.2	43
湖西	0	0%	0	37	0		0	43	72	4%	8.6	44
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 25-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
滋賀県	2,065	0.9%	12.9	48	50	0.2%	0.3	44	2,015	1.0%	12.6	50	
大津	506	25%	13.2	49	0	0%	0	43	506	25%	13.2	51	
湖南	575	28%	20.0	58	0	0%	0	43	575	29%	20.0	61	
甲賀	230	11%	14.2	50	0	0%	0	43	230	11%	14.2	52	
東近江	154	7%	5.5	38	0	0%	0	43	154	8%	5.5	39	
湖東	409	20%	22.0	61	50	100%	2.7	57	359	18%	19.3	60	
湖北	103	5%	4.7	36	0	0%	0	43	103	5%	4.7	38	
湖西	88	4%	10.5	45	0	0%	0	43	88	4%	10.5	47	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 25-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
滋賀県	1,457	0.8%	9.1	44	913	0.8%	5.7	42	544	1.1%	3.4	52
大津	282	19%	7.4	36	183	20%	4.8	37	99	18%	2.6	45
湖南	291	20%	10.1	48	153	17%	5.3	40	138	25%	4.8	65
甲賀	191	13%	11.8	56	121	13%	7.5	51	70	13%	4.3	61
東近江	276	19%	9.8	47	201	22%	7.1	49	75	14%	2.7	46
湖東	159	11%	8.6	41	99	11%	5.4	40	60	11%	3.2	51
湖北	196	13%	8.9	43	117	13%	5.3	40	79	15%	3.6	54
湖西	61	4%	7.3	36	39	4%	4.6	36	22	4%	2.7	45
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 25-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
滋賀県	13,317	0.9%	83	43	11,656	0.9%	73	45	1,661	0.7%	10.4	44
大津	3,350	25%	88	46	2,768	24%	72	44	582	35%	15.2	53
湖南	2,444	18%	85	44	2,128	18%	74	46	316	19%	11.0	45
甲賀	1,269	10%	78	39	1,150	10%	71	43	120	7%	7.4	39
東近江	2,258	17%	80	40	2,060	18%	73	45	198	12%	7.1	38
湖東	1,454	11%	78	39	1,282	11%	69	41	172	10%	9.2	42
湖北	1,847	14%	84	43	1,634	14%	74	46	213	13%	9.7	43
湖西	695	5%	83	43	634	5%	76	48	61	4%	7.3	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 25-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
滋賀県	8,966	0.7%	56	45	5,279	1.0%	33	51	12,327	1.0%	77	51
大津	3,503	39%	92	55	769	15%	20	41	4,294	35%	112	64
湖南	1,256	14%	44	41	1,429	27%	50	64	2,084	17%	73	49
甲賀	637	7%	39	40	775	15%	48	63	964	8%	60	44
東近江	1,135	13%	40	40	570	11%	20	42	1,689	14%	60	45
湖東	770	9%	41	40	610	12%	33	51	1,332	11%	72	49
湖北	1,271	14%	58	45	880	17%	40	57	1,527	12%	70	48
湖西	394	4%	47	42	246	5%	29	49	437	4%	52	42
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 25-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
滋賀県		1,380,361	1,412,916	2%	1,394,593	1%	14%	8%	23%
大津	地方都市型	323,719	340,973	5%	340,565	5%	20%	11%	33%
湖南	地方都市型	301,337	333,744	11%	349,688	16%	24%	13%	41%
甲賀	地方都市型	149,178	145,190	-3%	138,179	-7%	10%	6%	17%
東近江	地方都市型	233,496	229,799	-2%	220,232	-6%	9%	5%	15%
湖東	地方都市型	153,174	156,273	2%	155,409	1%	12%	7%	20%
湖北	過疎地域型	165,507	156,912	-5%	145,904	-12%	4%	0%	4%
湖西	過疎地域型	53,950	50,025	-7%	44,616	-17%	5%	0%	4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 25-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
滋賀県	63	4.6	43	57	4.0	44	-6	-10%
大津	16	4.9	44	15	4.4	45	-1	-6%
湖南	15	5.0	44	13	3.9	44	-2	-13%
甲賀	9	6.0	47	7	4.8	46	-2	-22%
東近江	12	5.1	45	11	4.8	46	-1	-8%
湖東	4	2.6	38	4	2.6	41	0	0%
湖北	4	2.4	38	4	2.5	41	0	0%
湖西	3	5.6	46	3	6.0	49	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 25-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
滋賀県	910	66	45	1,070	76	48	160	18%
大津	253	78	51	288	84	52	35	14%
湖南	226	75	50	274	82	51	48	21%
甲賀	69	46	35	89	61	40	20	29%
東近江	127	54	39	146	64	41	19	15%
湖東	90	59	41	116	74	47	26	29%
湖北	103	62	43	119	76	48	16	16%
湖西	42	78	51	38	76	48	-4	-10%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 25-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
滋賀県	2,755	200	49	3,121	221	48	366	13%
大津	1,060	327	64	1,216	357	63	156	15%
湖南	575	191	48	697	209	47	122	21%
甲賀	166	111	38	198	136	38	32	19%
東近江	342	146	42	420	183	44	78	23%
湖東	240	157	43	231	148	40	-9	-4%
湖北	294	178	46	287	183	44	-7	-2%
湖西	78	145	42	72	144	39	-6	-8%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 25-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
滋賀県	15,303	111	44	14,857	105	45	-446	-3%
大津	4,300	133	48	4,158	122	48	-142	-3%
湖南	3,065	102	43	3,174	95	43	109	4%
甲賀	1,787	120	46	1,603	110	46	-184	-10%
東近江	2,705	116	45	2,720	118	48	15	1%
湖東	1,388	91	41	1,317	84	41	-71	-5%
湖北	1,570	95	42	1,470	94	43	-100	-6%
湖西	488	90	41	415	83	41	-73	-15%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 25-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
滋賀県	10,562	77	47	9,618	68	47	-944	-9%
大津	2,664	82	50	2,532	74	49	-132	-5%
湖南	2,493	83	50	2,462	74	49	-31	-1%
甲賀	1,071	72	46	893	62	44	-178	-17%
東近江	1,692	72	46	1,426	62	44	-266	-16%
湖東	1,134	74	47	938	60	43	-196	-17%
湖北	1,164	70	45	1,056	67	46	-108	-9%
湖西	344	64	43	311	62	44	-33	-10%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 25-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

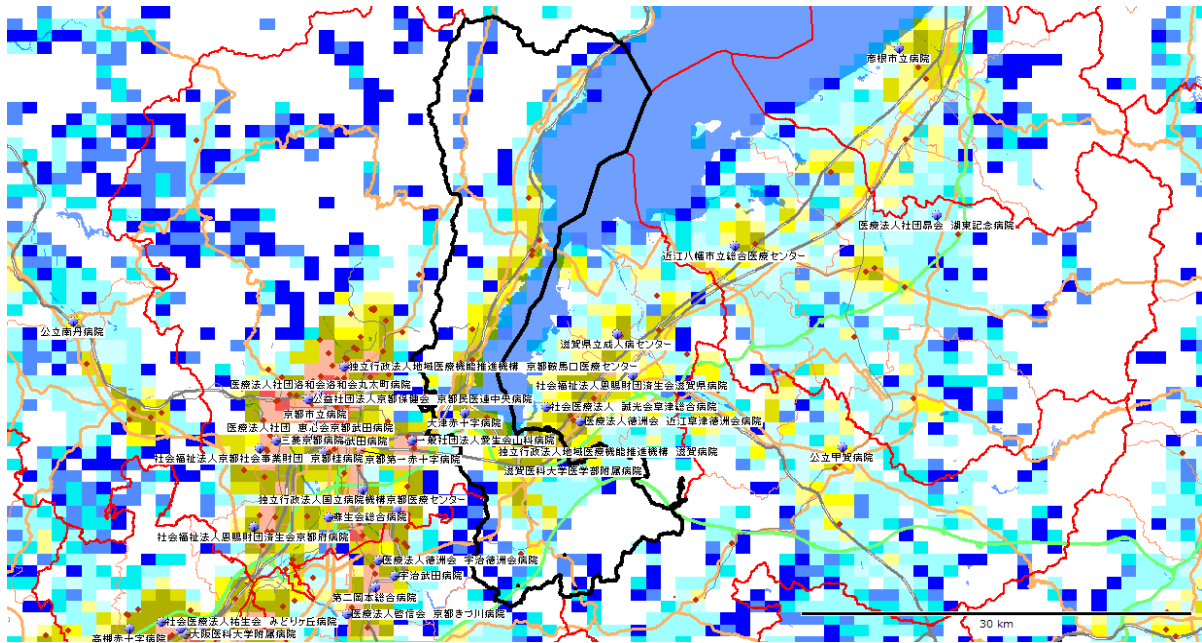
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
滋賀県	2,314	20	43	2,813	18	47	499	22%
大津	610	24	45	673	18	47	63	10%
湖南	348	19	42	467	16	46	119	34%
甲賀	270	22	44	299	18	48	29	11%
東近江	599	27	47	868	31	59	269	45%
湖東	120	9	37	245	13	44	125	104%
湖北	227	12	39	161	7	38	-66	-29%
湖西	140	21	44	100	12	43	-40	-29%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 25-1. おおつ 大津医療圏

構成市区町村 [大津市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (大津医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 大津(大津市)は、総人口約341千人(2015年)、面積465km<sup>2</sup>、人口密度は734人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 大津の総人口は2025年に341千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に323千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて57千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には64千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 大津の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値52)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 大津の一人当たり急性期医療密度指数は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が63(病院医師数66、診療所医師数51)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。大津には、年間全身麻酔件数が2000例以上の滋賀医科大学医学部附属病院(I群)、1000例以上の市立大津市民病院(III群)、大津赤十字病院(III群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 大津の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,427人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,639床(偏差値35)、高齢者住宅等が1,788床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,768人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設32、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム53、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、582人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-61%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(大津医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

大津医療圏の総人口は、2005年323,719人が、2015年に340,973人と5%増加し、2025年の人口が340,565人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

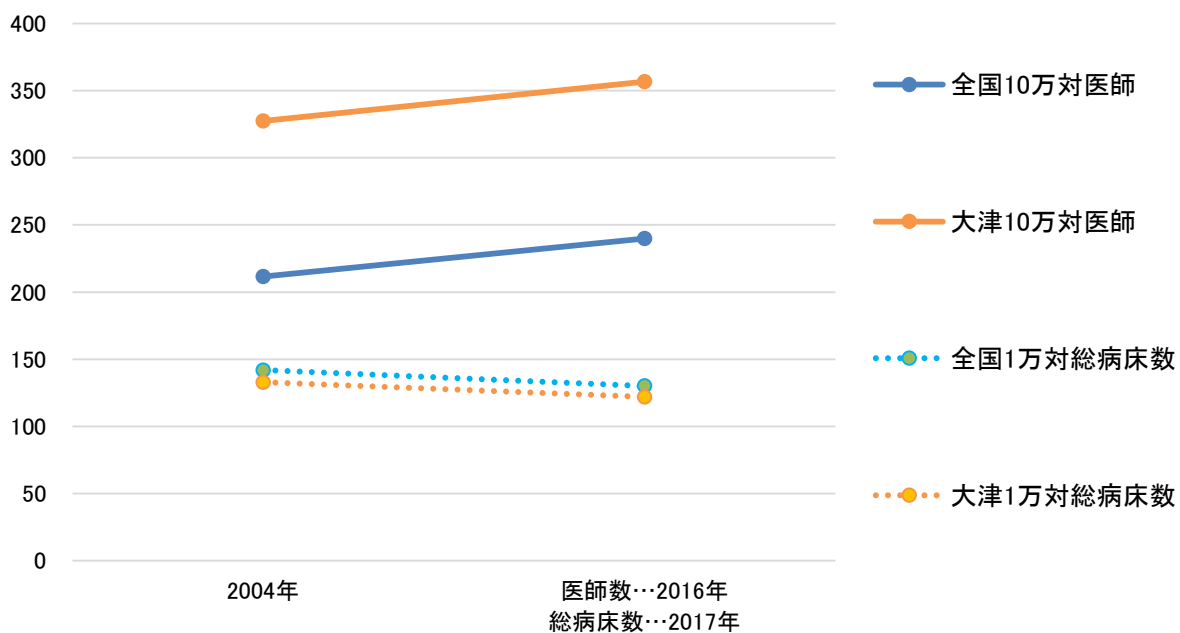
2004年の病院数が16(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に15(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が253(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に288(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、35診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,300床(人口1万人当たり133(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に4,158床(人口1万人当たり122(全国平均130)偏差値48)と、142床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

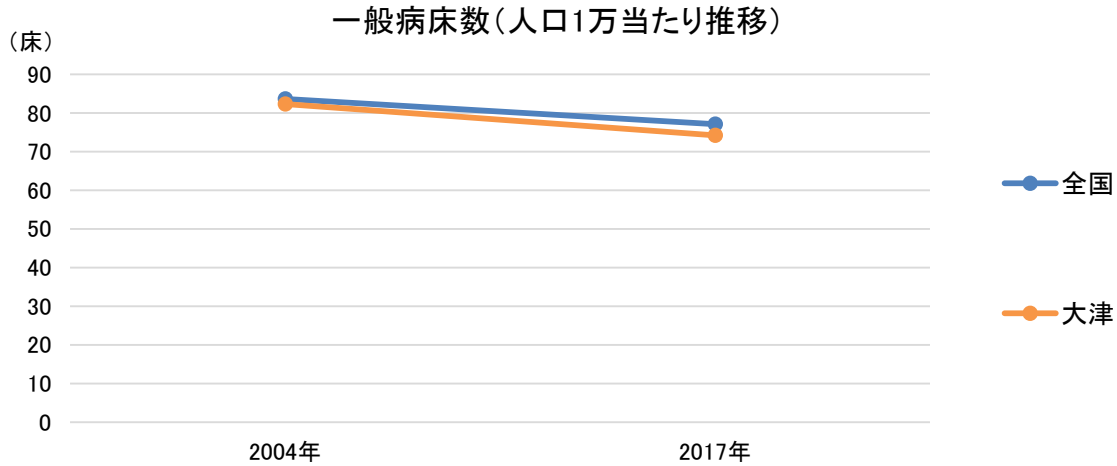
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,060人(人口10万人当たり327人(全国平均212人)偏差値64)であったが、2016年に1,216人(人口10万人当たり357人(全国平均240人)偏差値63)と、156人の増加、率にして15%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



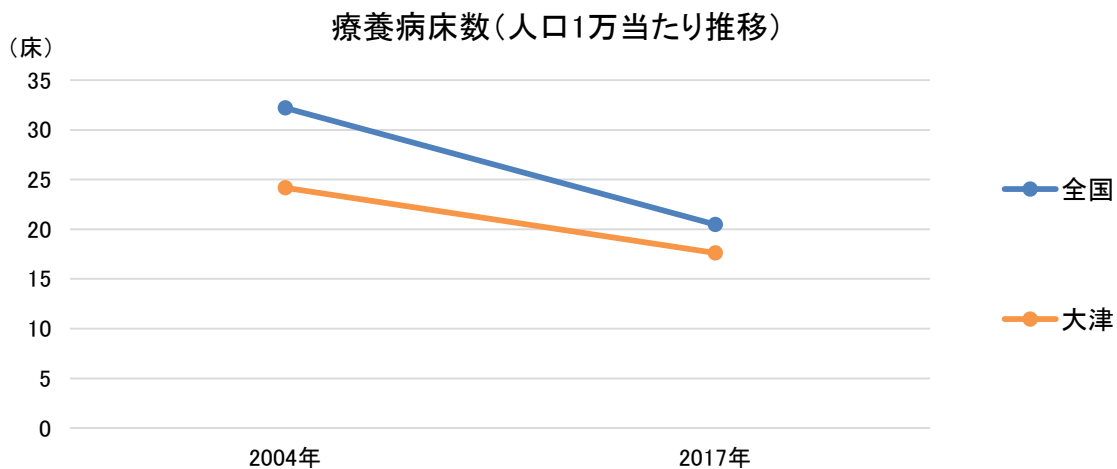
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,664床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に2,532床(人口1万人当たり74(全国平均77)偏差値49)と、132床の減少、率にして5%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



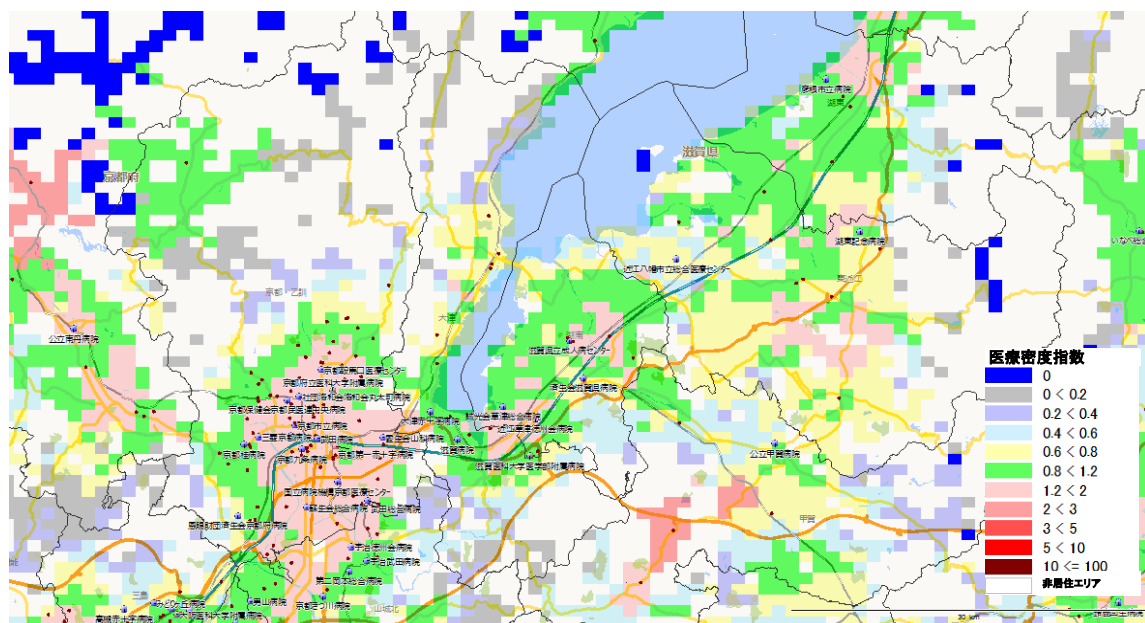
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が610床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に673床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値47)と、63床の増加、率にして10%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



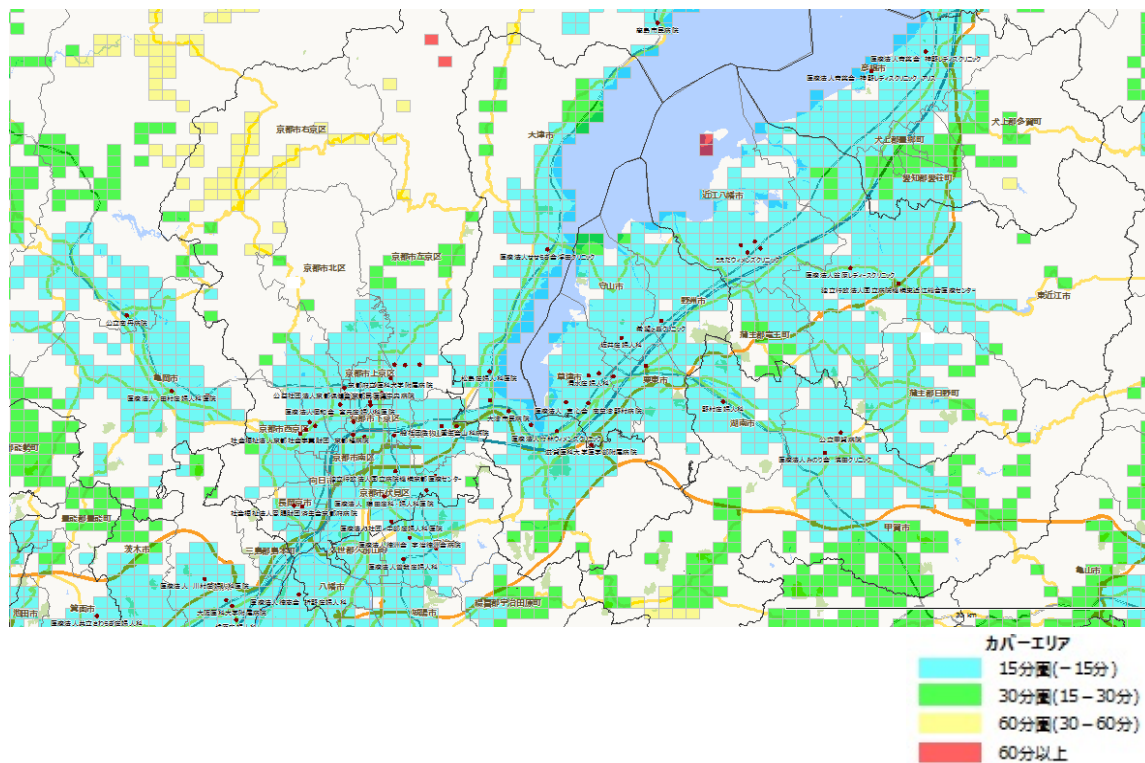
(大津医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



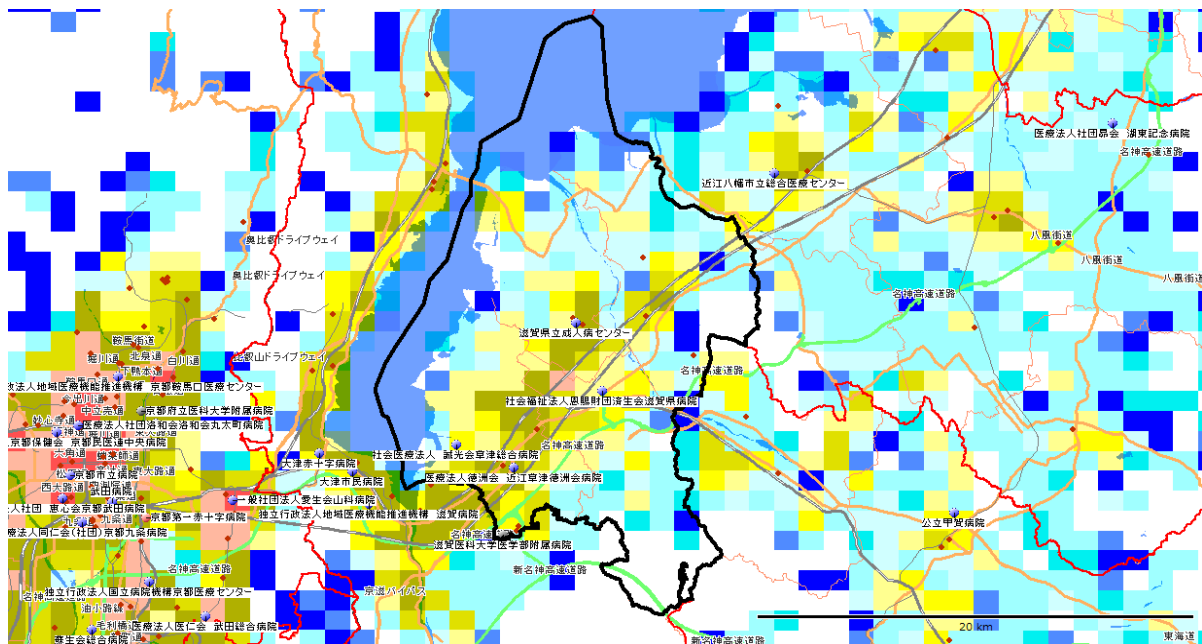


# 25-2. こなん 湖南医療圏

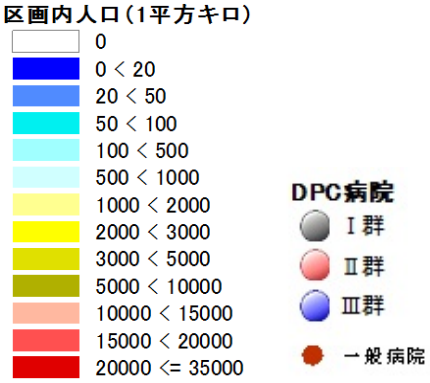
構成市区町村 [草津市](#) [守山市](#) [栗東市](#) [野洲市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (湖南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 湖南(草津市)は、総人口約334千人(2015年)、面積256km<sup>2</sup>、人口密度は1,302人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 湖南の総人口は2025年に350千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年に349千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の29千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比+59%)、2040年には50千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 湖南の一人当たり医療費(国保)は353千円(偏差値52)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 湖南の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は0.52で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。湖南には、年間全身麻酔件数が1000例以上の済生会滋賀県病院(Ⅲ群・救命)、滋賀県立総合病院(Ⅲ群)、草津総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 湖南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,791人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,898床(偏差値54)、高齢者住宅等が893床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,128人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住58である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、316人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-70%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (湖南医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

湖南医療圏の総人口は、2005年301,337人が、2015年に333,744人と11%増加し、2025年の人口が349,688人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に24%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

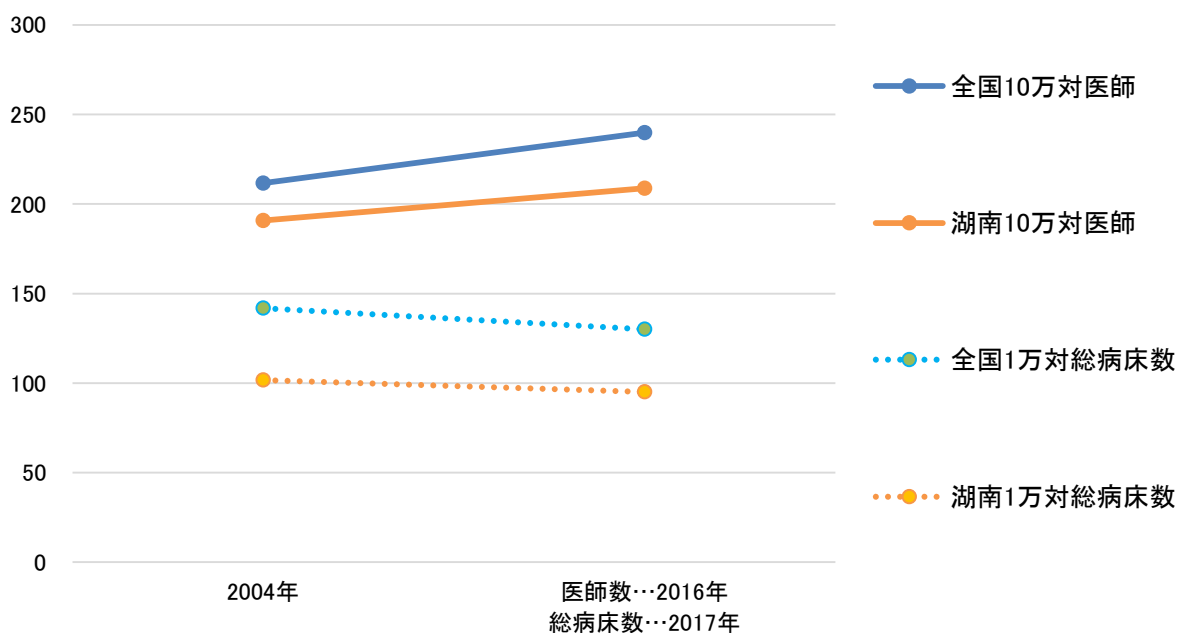
2004年の病院数が15(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に13(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が226(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に274(人口10万人当たり82診療所(全国平均80)偏差値51)と、48診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,065床(人口1万人当たり102(全国平均142)偏差値43)であったが、2017年に3,174床(人口1万人当たり95(全国平均130)偏差値43)と、109床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

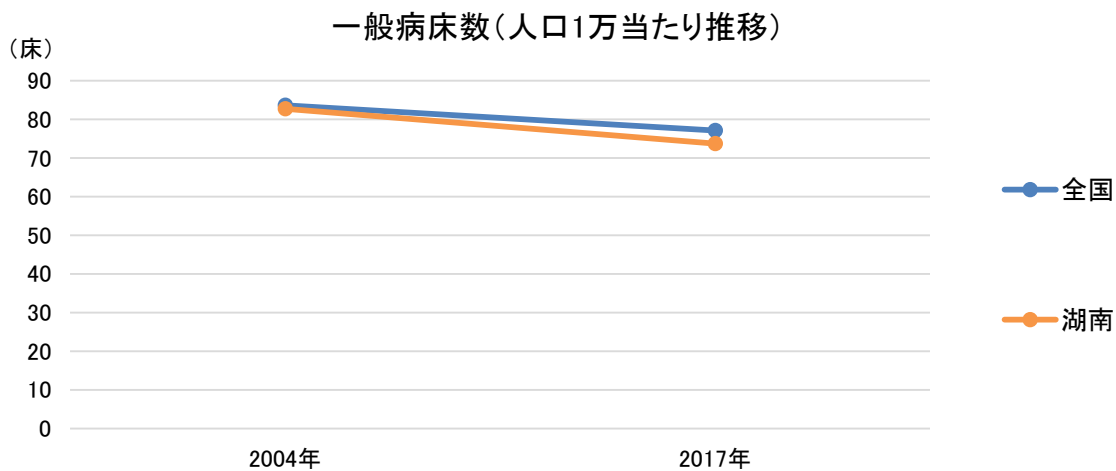
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が575人(人口10万人当たり191人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2016年に697人(人口10万人当たり209人(全国平均240人)偏差値47)と、122人の増加、率にして21%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



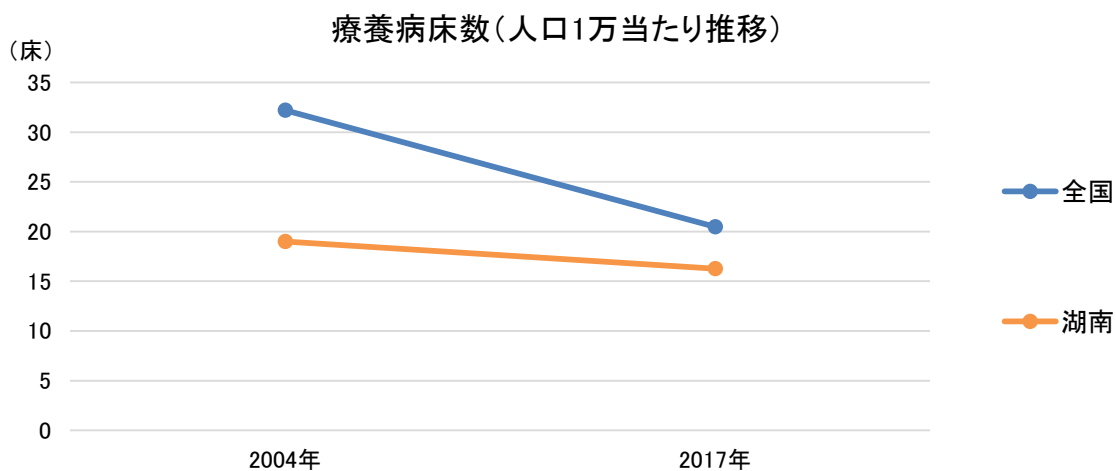
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,493床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に2,462床(人口1万人当たり74(全国平均77)偏差値49)と、31床の減少、率にして1%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



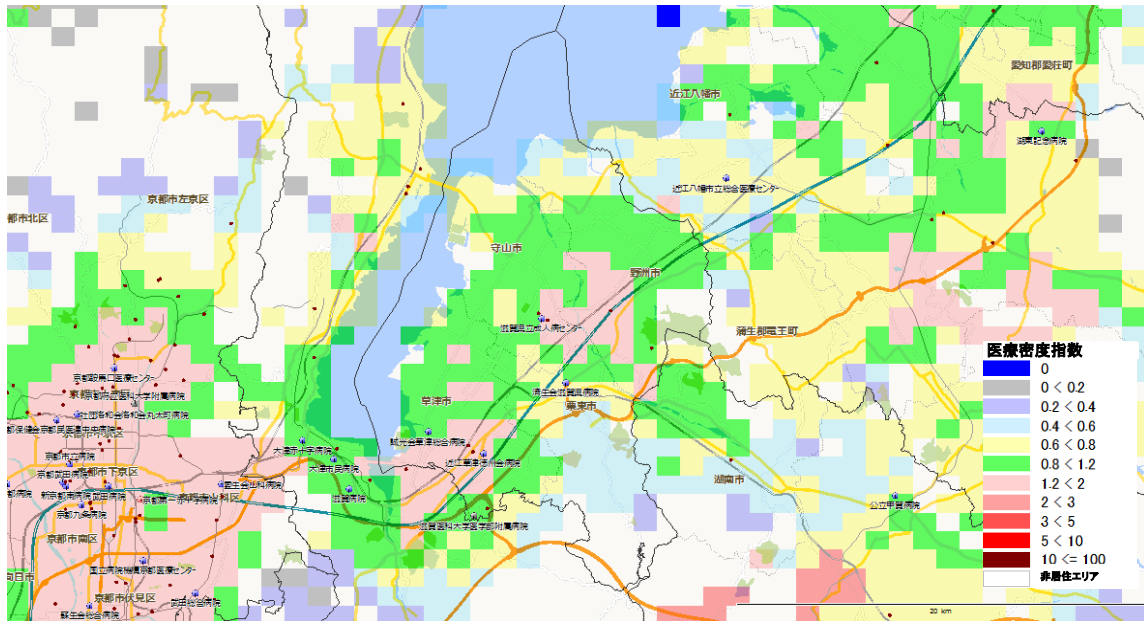
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が348床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に467床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、119床の増加、率にして34%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



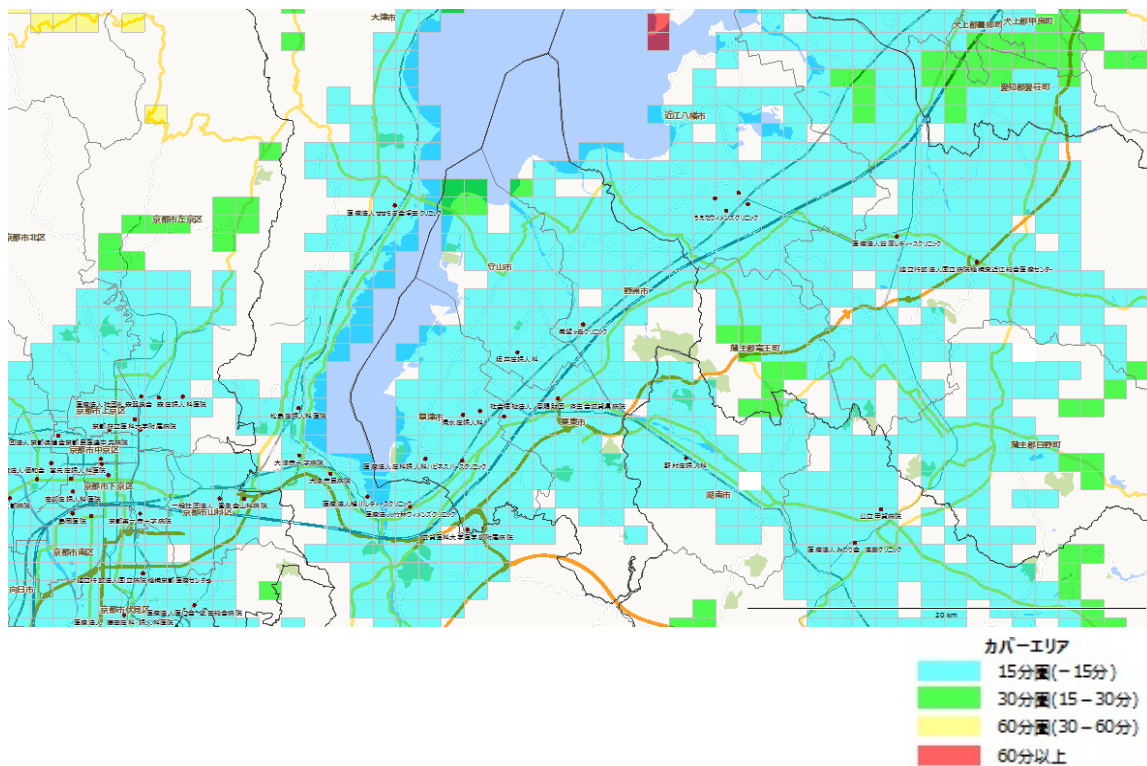
(湖南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

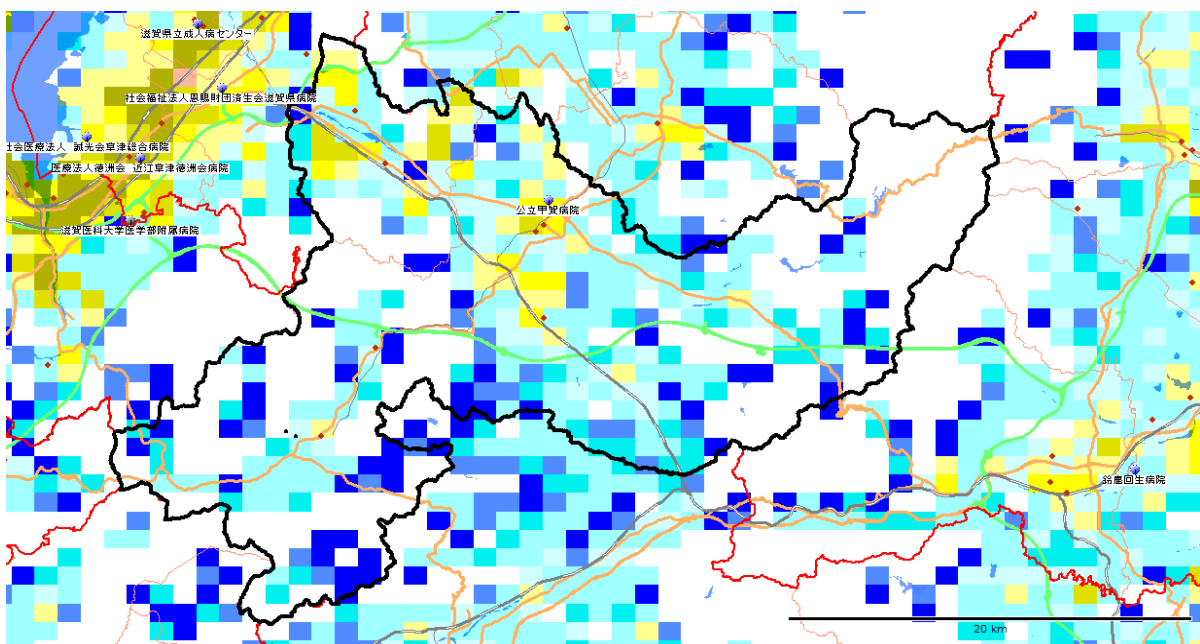


# 25-3. こうか 甲賀医療圏

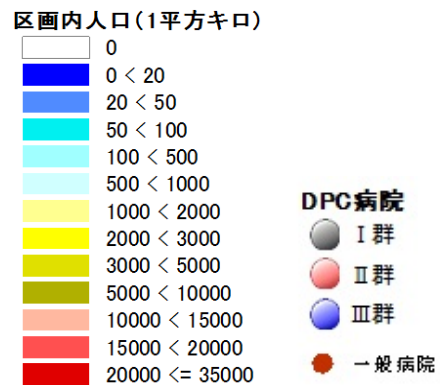
構成市区町村 [甲賀市](#) [湖南市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (甲賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 甲賀(甲賀市)は、総人口約145千人(2015年)、面積552km<sup>2</sup>、人口密度は263人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 甲賀の総人口は2025年に138千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に123千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて22千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には25千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 甲賀の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値50)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 甲賀の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.21で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数40、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。甲賀には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立甲賀病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 甲賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,546人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,175床(偏差値59)、高齢者住宅等が371床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,150人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、120人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(甲賀医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

甲賀医療圏の総人口は、2005年149,178人が、2015年に145,190人と3%減少し、2025年の人口が138,179人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

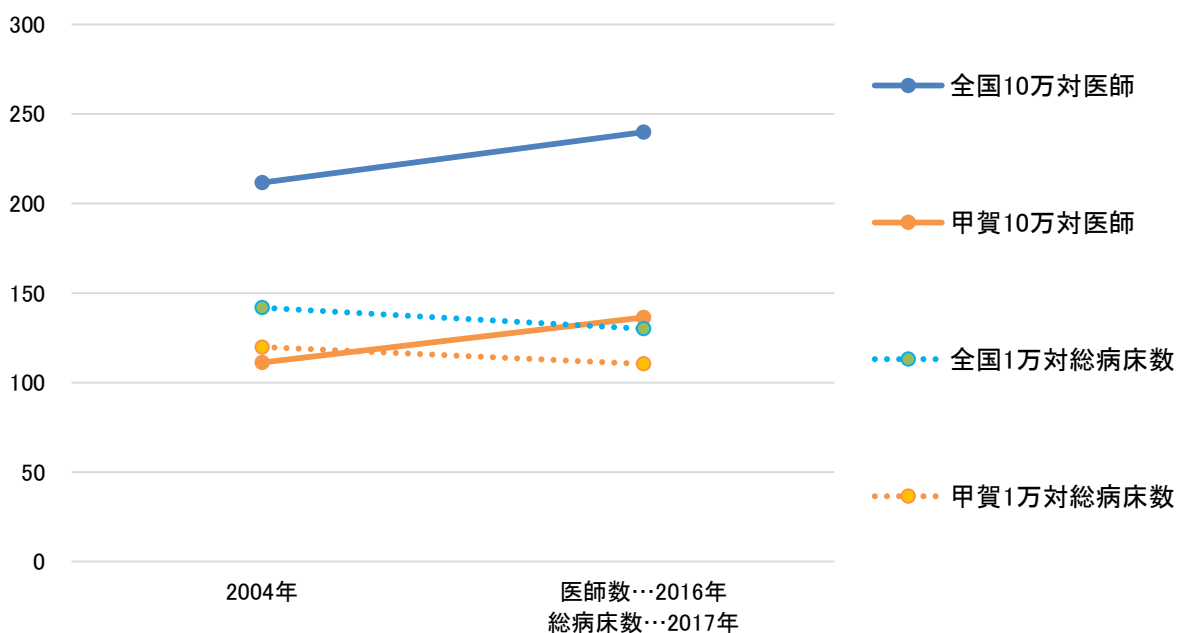
2004年の病院数が9(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に7(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が69(人口10万人当たり46診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2017年に89(人口10万人当たり61診療所(全国平均80)偏差値40)と、20診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,787床(人口1万人当たり120(全国平均142)偏差値46)であったが、2017年に1,603床(人口1万人当たり110(全国平均130)偏差値46)と、184床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が166人(人口10万人当たり111人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2016年に198人(人口10万人当たり136人(全国平均240人)偏差値38)と、32人の増加、率にして19%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

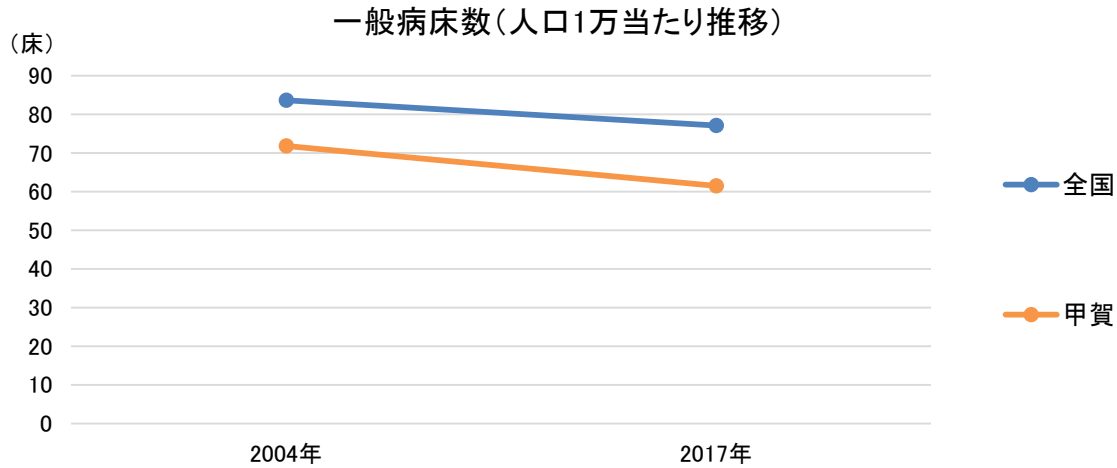
人口当たり医師数・総病床数の推移





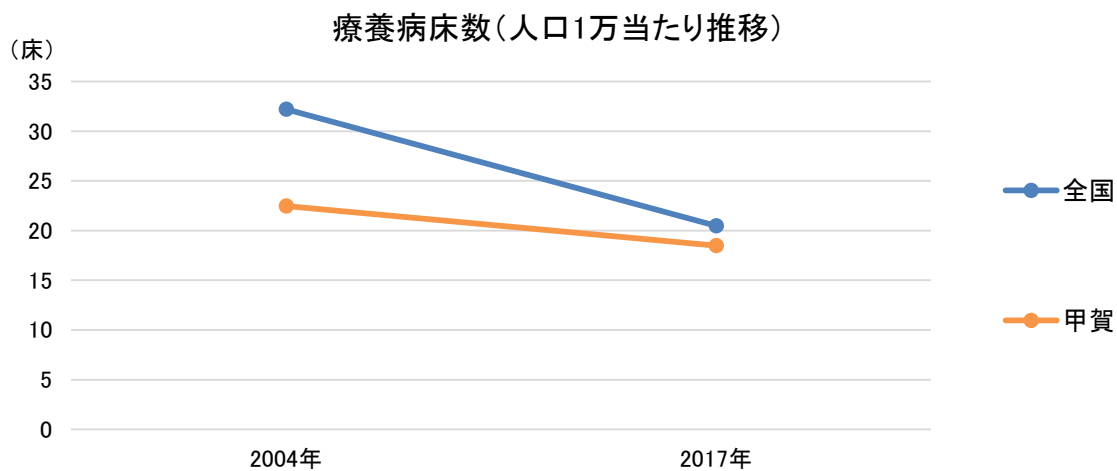
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,071床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に893床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、178床の減少、率にして17%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



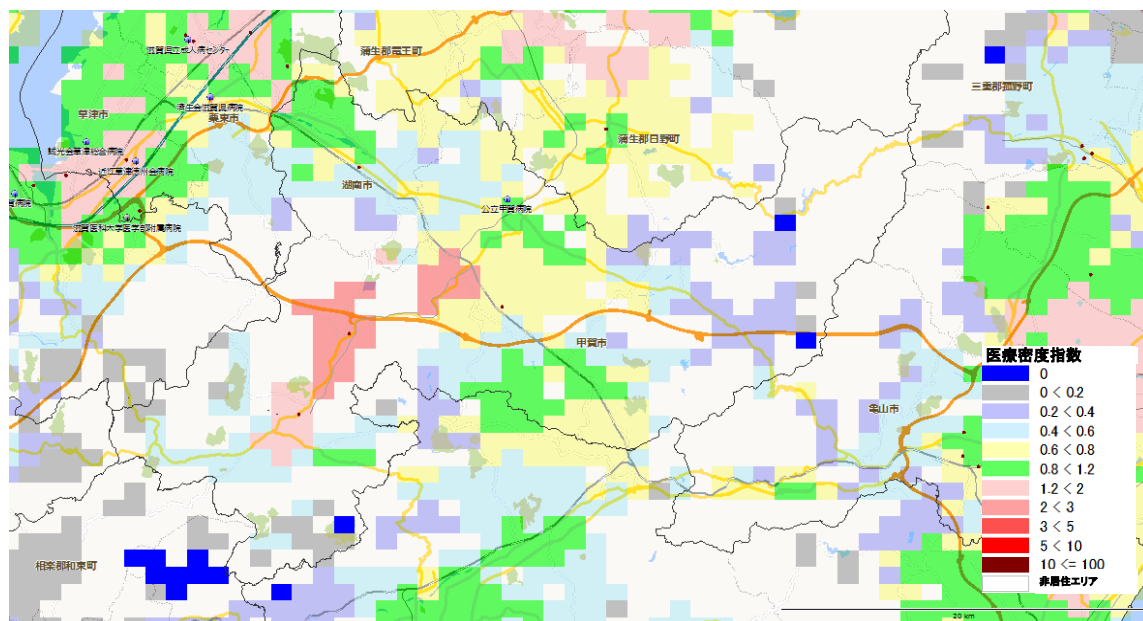
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が270床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に299床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、29床の増加、率にして11%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



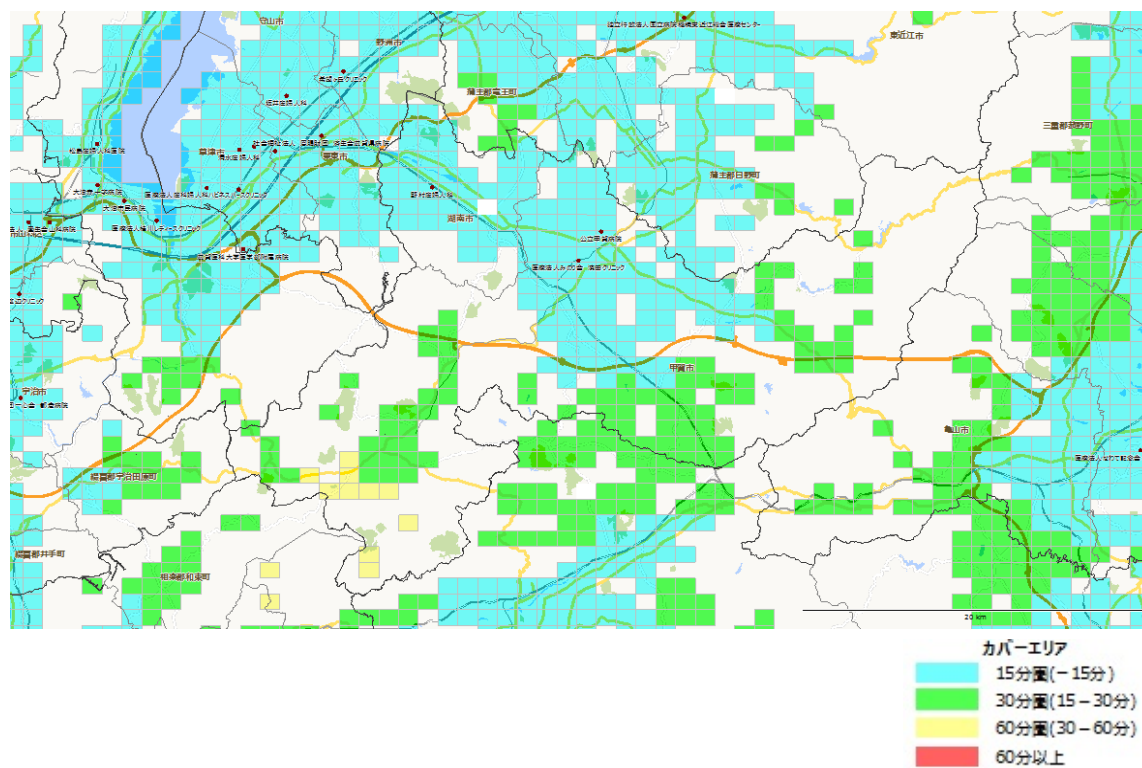
(甲賀医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

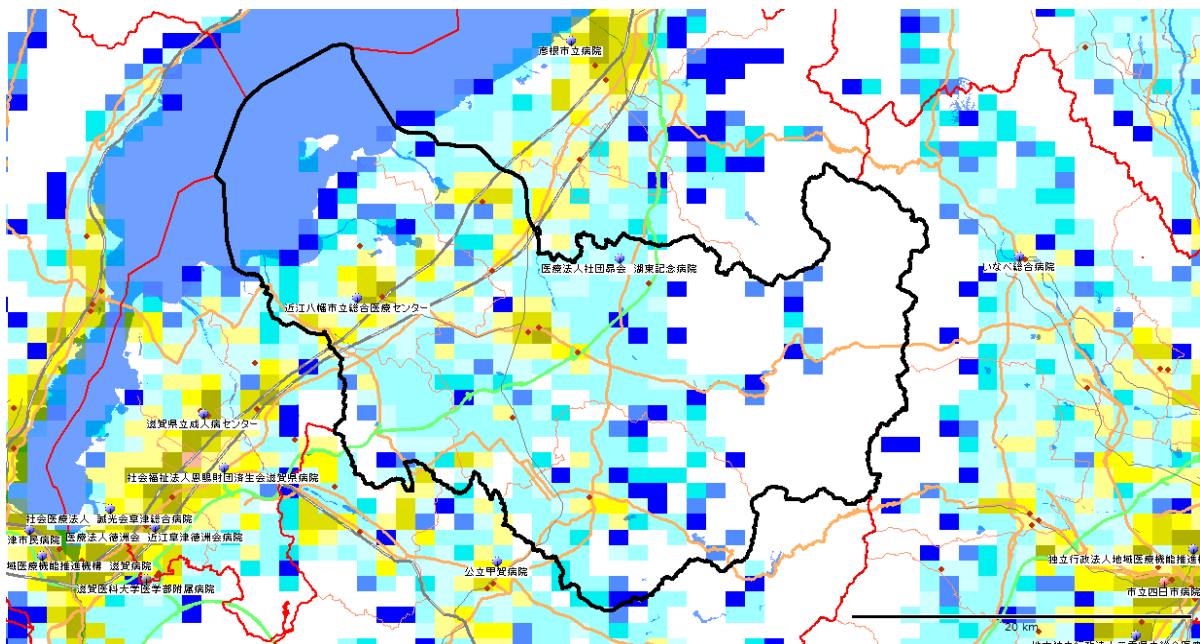


# 25-4. ひがしおうみ 東近江医療圏

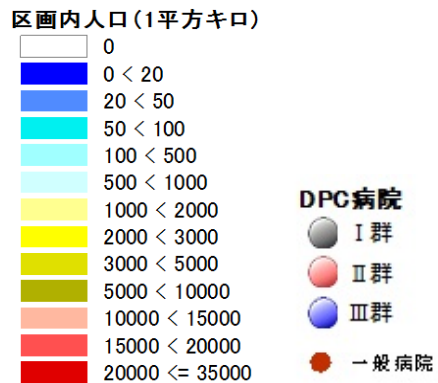
構成市区町村 [近江八幡市](#) [東近江市](#) [日野町](#) [竜王町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (東近江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東近江(近江八幡市)は、総人口約230千人(2015年)、面積728km<sup>2</sup>、人口密度は316人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東近江の総人口は2025年に220千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に199千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には39千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東近江の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値54)、介護給付費は230千円(偏差値43)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東近江の一人当たり急性期医療密度指数は0.78、一人当たり慢性期医療密度指数は1.12で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数42)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。東近江には、年間全身麻酔件数が1000例以上の近江八幡市立総合医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東近江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,058人(75歳以上1,000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,643床(偏差値48)、高齢者住宅等が415床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,060人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設52、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住38である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、198人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-56%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (東近江医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

東近江医療圏の総人口は、2005年233,496人が、2015年に229,799人と2%減少し、2025年の人口が220,232人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

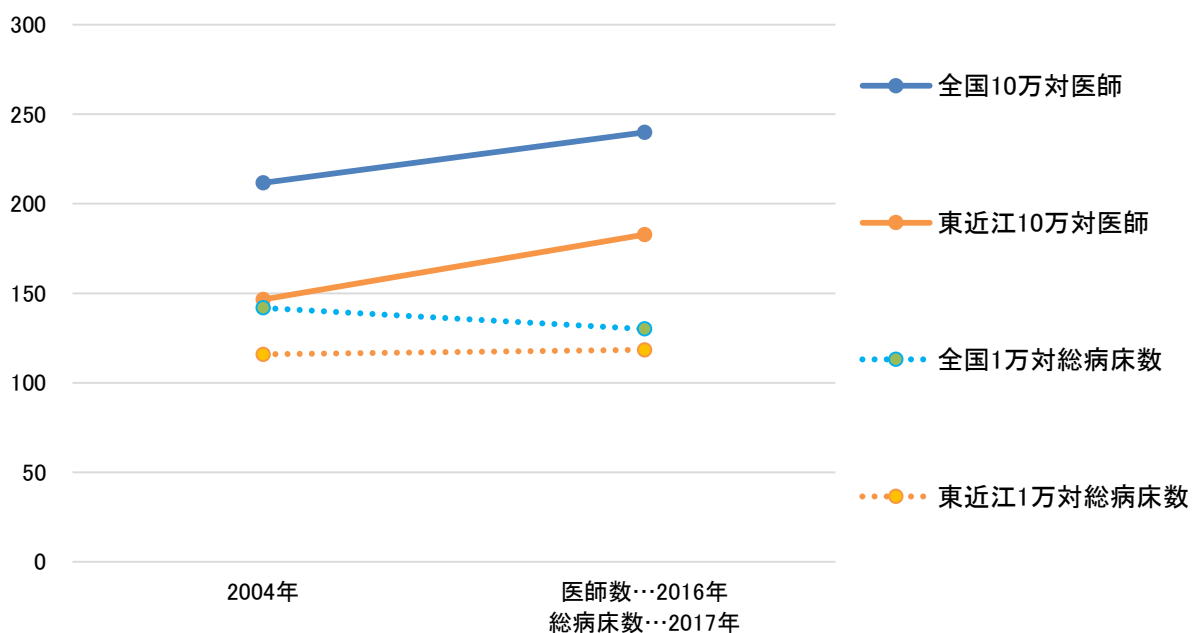
2004年の病院数が12(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に11(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が127(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2017年に146(人口10万人当たり64診療所(全国平均80)偏差値41)と、19診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,705床(人口1万人当たり116(全国平均142)偏差値45)であったが、2017年に2,720床(人口1万人当たり118(全国平均130)偏差値48)と、15床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

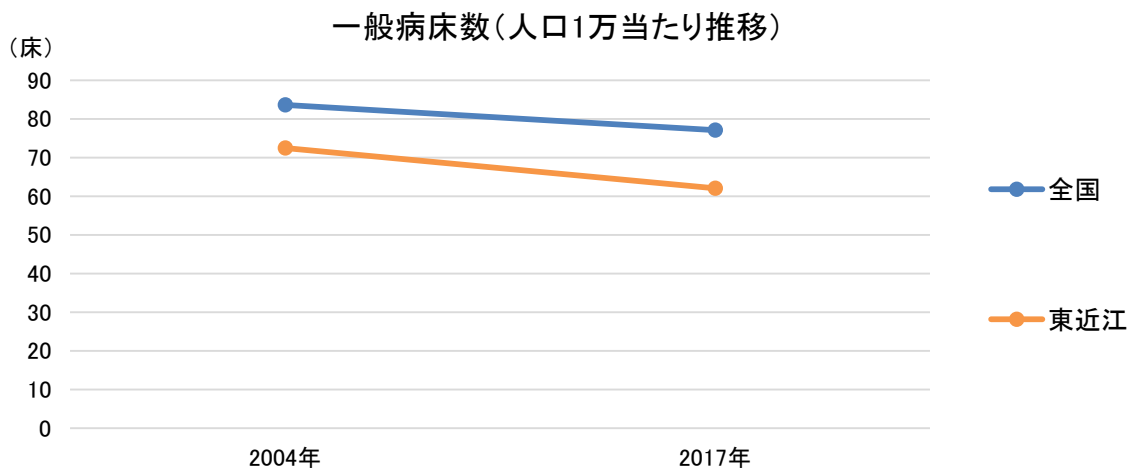
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が342人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に420人(人口10万人当たり183人(全国平均240人)偏差値44)と、78人の増加、率にして23%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



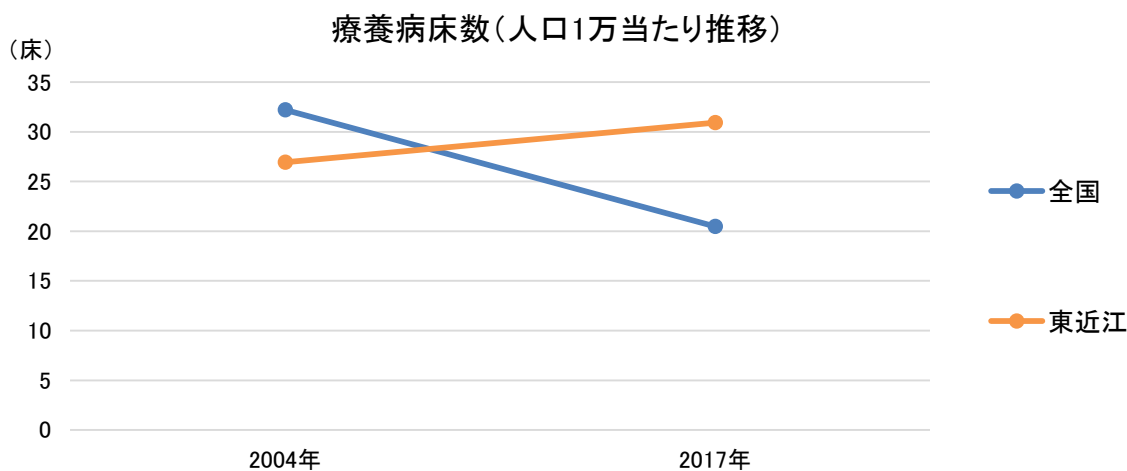
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,692床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に1,426床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、266床の減少、率にして16%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



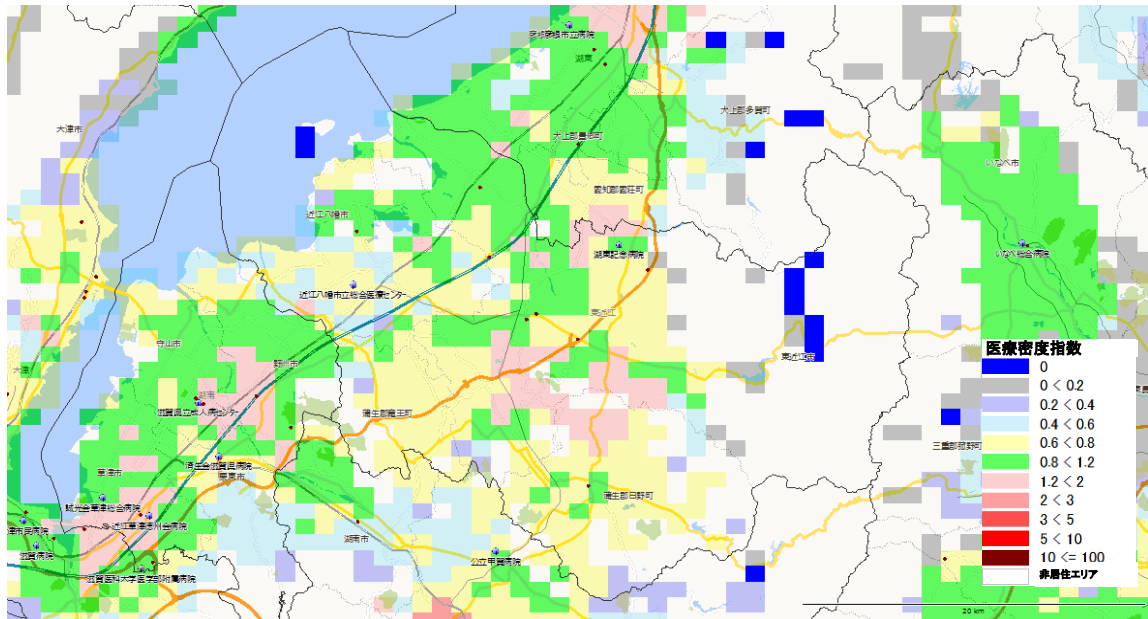
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が599床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に868床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均20)偏差値59)と、269床の増加、率にして45%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



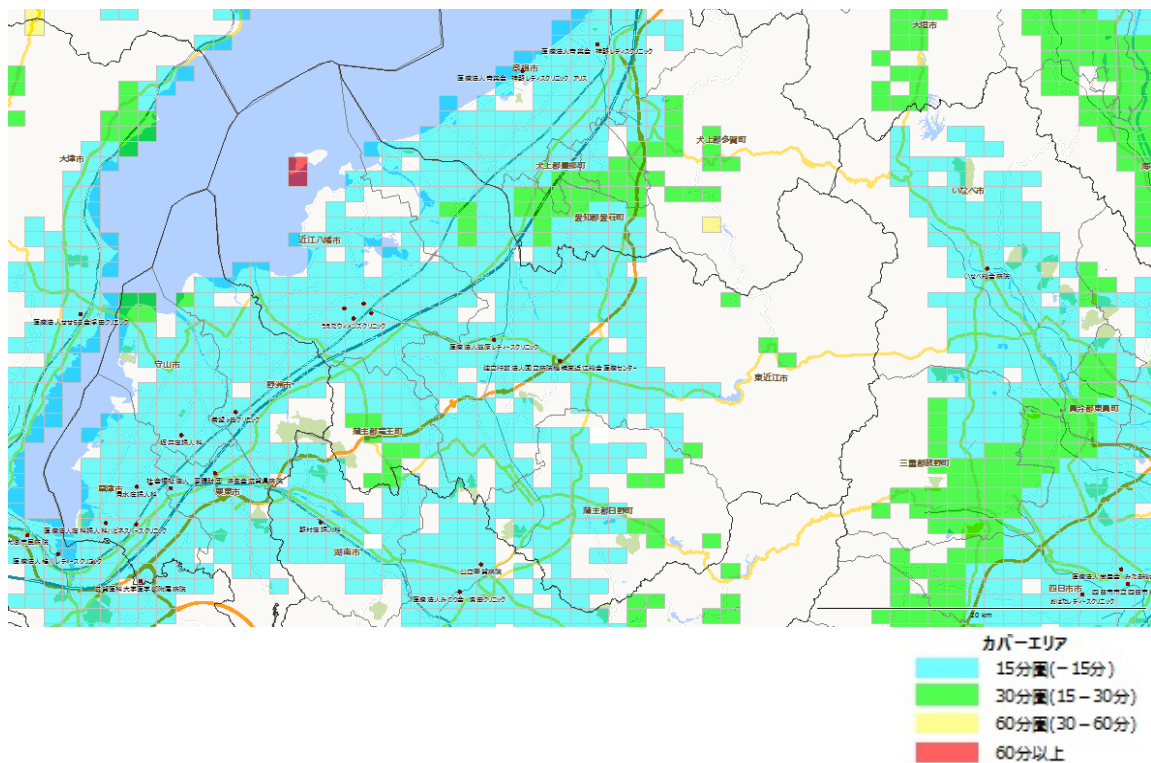
(東近江医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-4-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

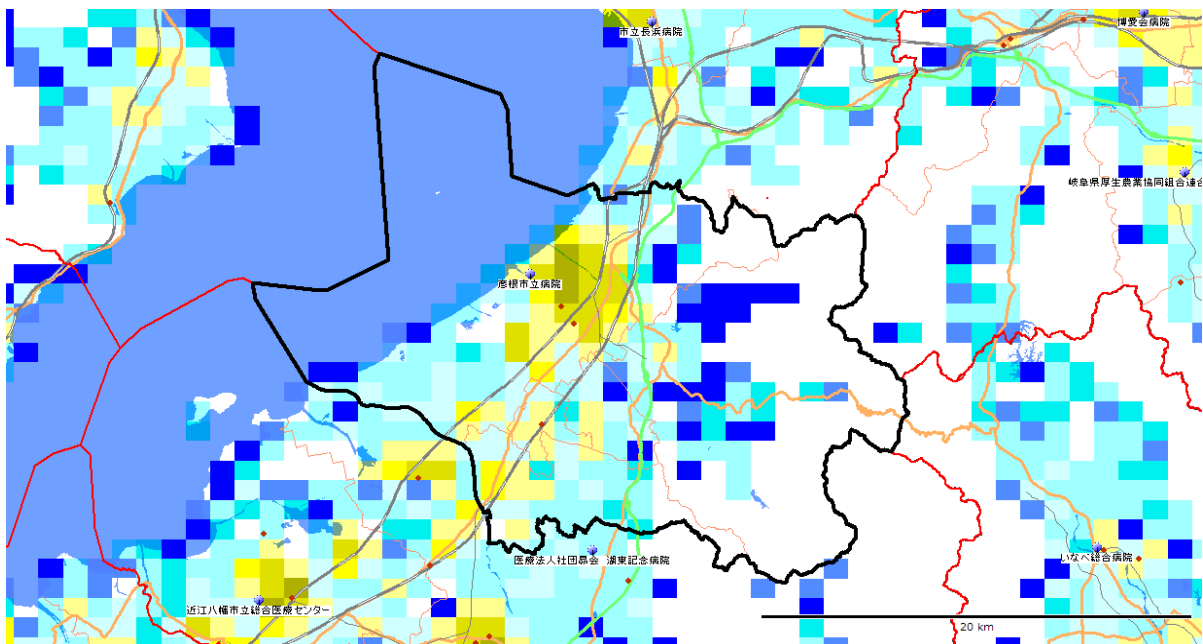


# 25-5. ことう湖東医療圏

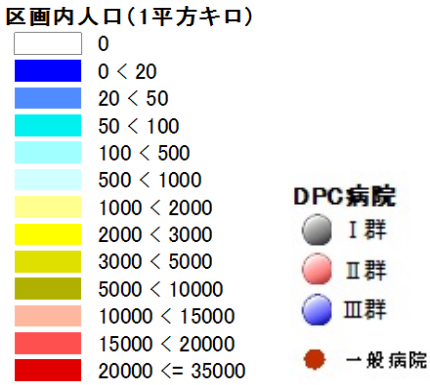
構成市区町村 [彦根市](#) [愛荘町](#) [豊郷町](#) [甲良町](#)  
[多賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ





## (湖東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 湖東(彦根市)は、総人口約156千人(2015年)、面積392km<sup>2</sup>、人口密度は399人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 湖東の総人口は2025年に155千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に148千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて24千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には26千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 湖東の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値45)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 湖東の一人当たり急性期医療密度指数は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数39、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。湖東には、年間全身麻酔件数が1000例以上の彦根市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 湖東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,616人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が974床(偏差値43)、高齢者住宅等が642床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,282人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設30、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住61である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、172人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-55%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湖東医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

湖東医療圏の総人口は、2005年153,174人が、2015年に156,273人と2%増加し、2025年の人口が155,409人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

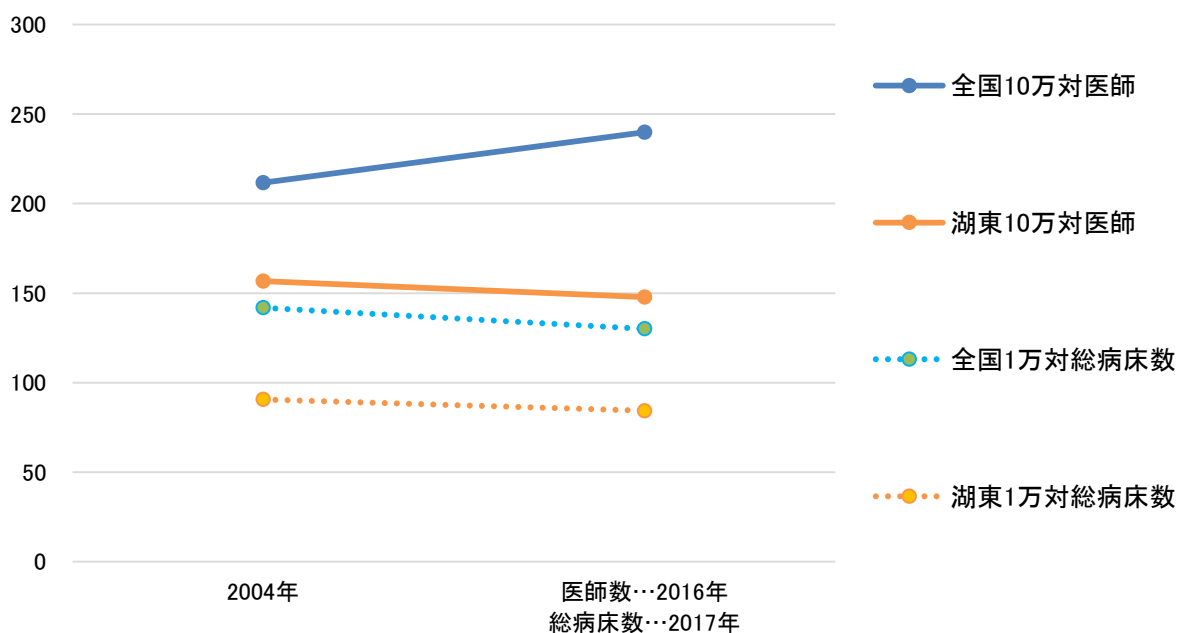
2004年の病院数が4(人口10万人当たり2.6病院(全国平均7.1)偏差値38)であったが、2017年に4(人口10万人当たり2.6病院(全国平均6.6)偏差値41)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が90(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に116(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、26診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,388床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に1,317床(人口1万人当たり84(全国平均130)偏差値41)と、71床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

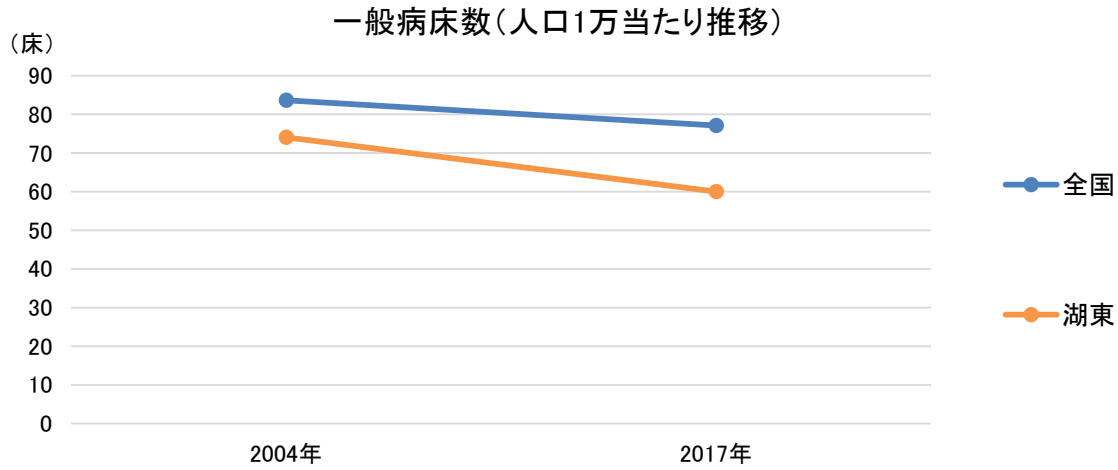
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が240人(人口10万人当たり157人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に231人(人口10万人当たり148人(全国平均240人)偏差値40)と、9人の減少、率にして4%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



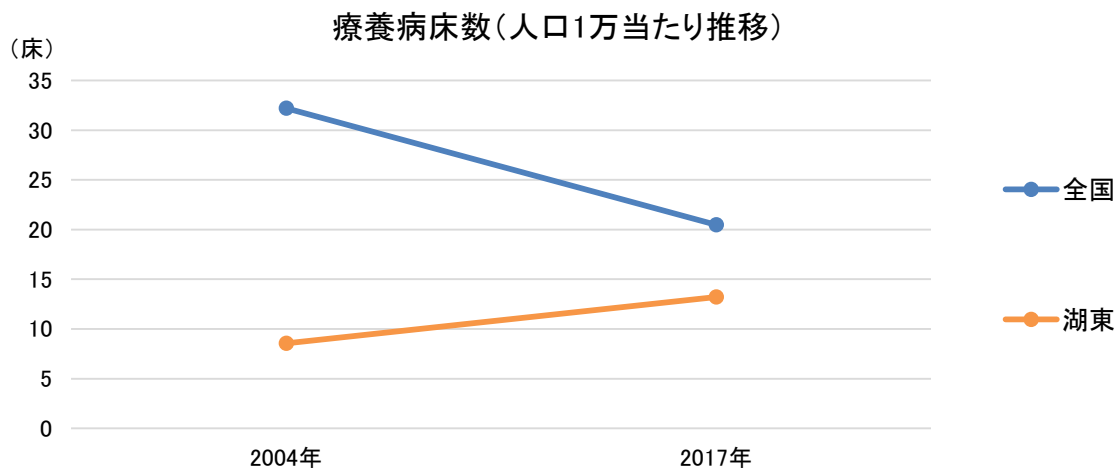
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,134床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2017年に938床(人口1万人当たり60(全国平均77)偏差値43)と、196床の減少、率にして17%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



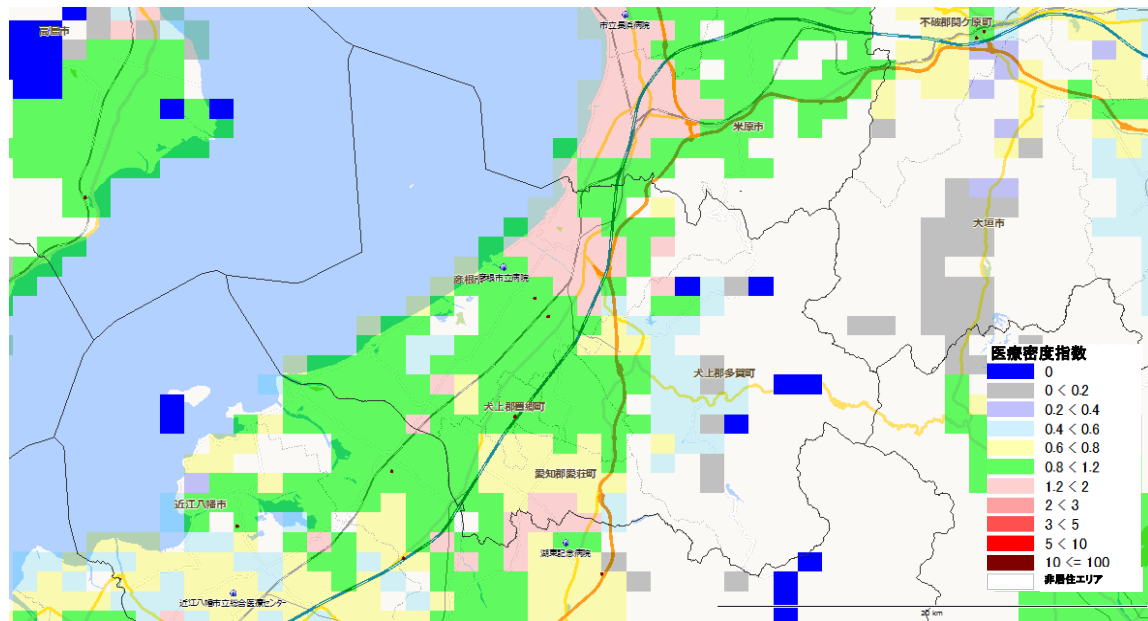
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が120床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均32)偏差値37)であったが、2017年に245床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均20)偏差値44)と、125床の増加、率にして104%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



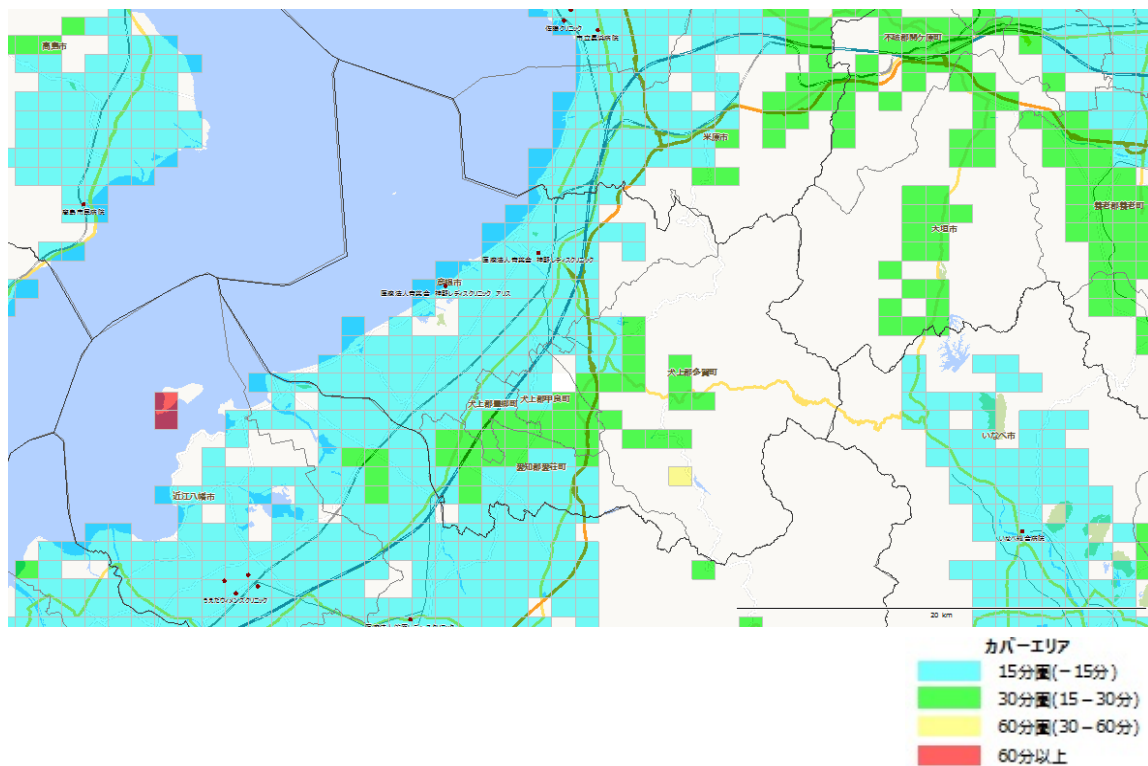
(湖東医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

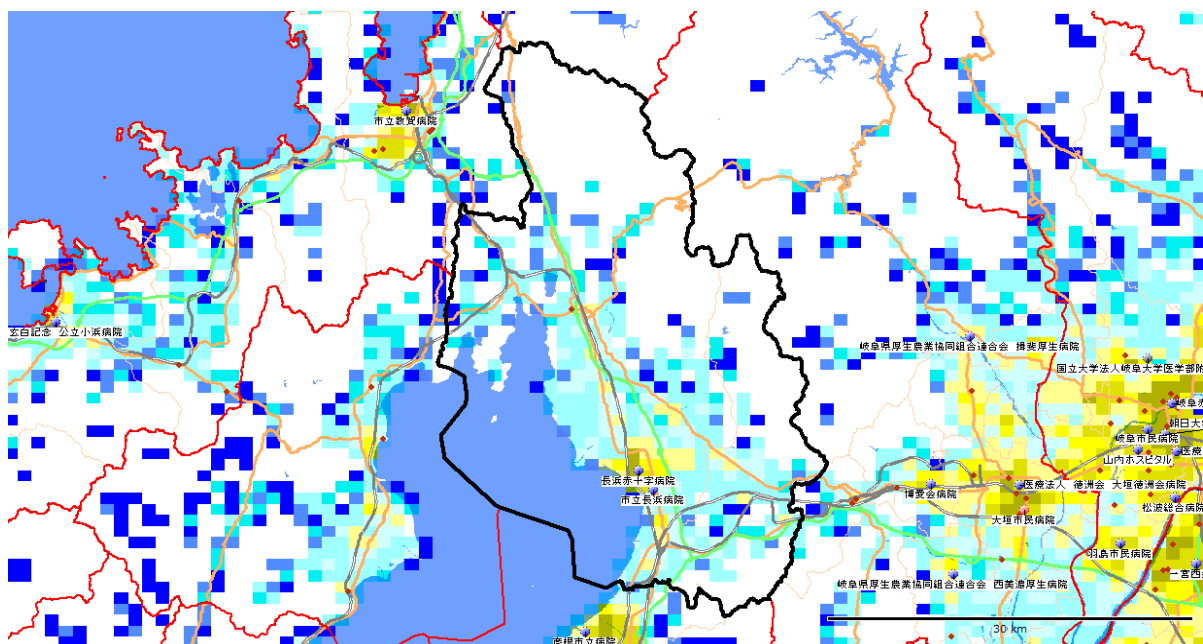


# 25-6. こほく 湖北医療圏

構成市区町村 [長浜市](#) [米原市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (湖北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 湖北(長浜市)は、総人口約157千人(2015年)、面積931km<sup>2</sup>、人口密度は168人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 湖北の総人口は2025年に146千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に127千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には26千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 湖北の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値52)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 湖北の一人当たり急性期医療密度指数は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数は0.72で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。湖北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立長浜病院(Ⅲ群)、長浜赤十字病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 湖北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,600人(75歳以上1,000人当たりの偏差値31)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,317床(偏差値49)、高齢者住宅等が283床(偏差値31)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,634人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、213人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-46%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (湖北医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

湖北医療圏の総人口は、2005年165,507人が、2015年に156,912人と5%減少し、2025年の人口が145,904人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

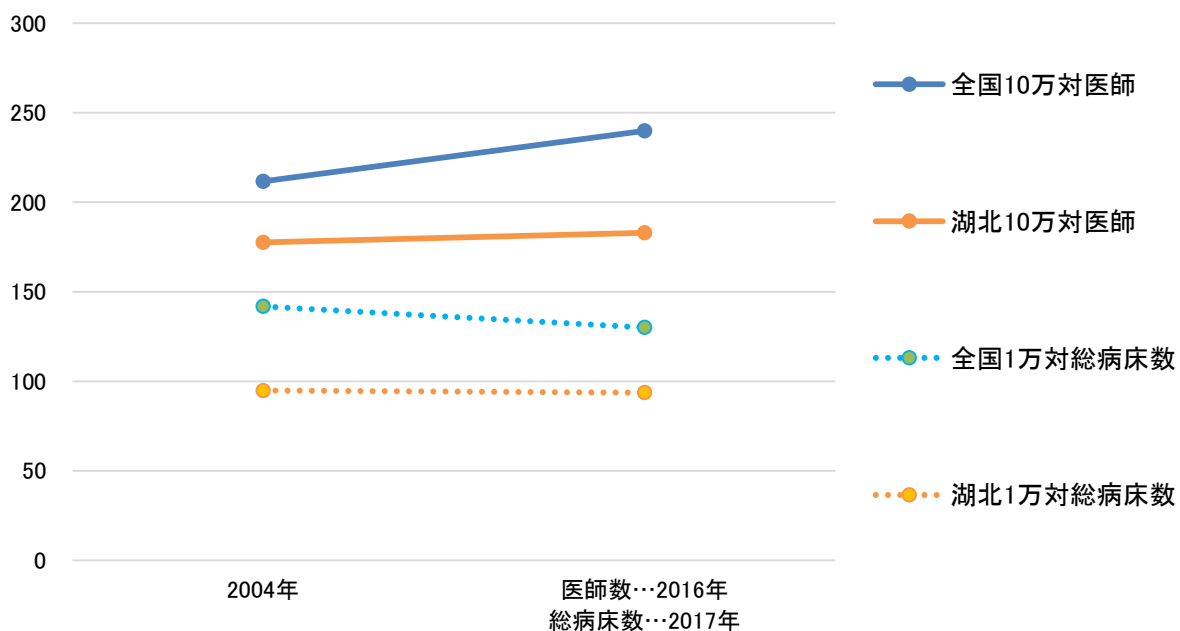
2004年の病院数が4(人口10万人当たり2.4病院(全国平均7.1)偏差値38)であったが、2017年に4(人口10万人当たり2.5病院(全国平均6.6)偏差値41)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が103(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2017年に119(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、16診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,570床(人口1万人当たり95(全国平均142)偏差値42)であったが、2017年に1,470床(人口1万人当たり94(全国平均130)偏差値43)と、100床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

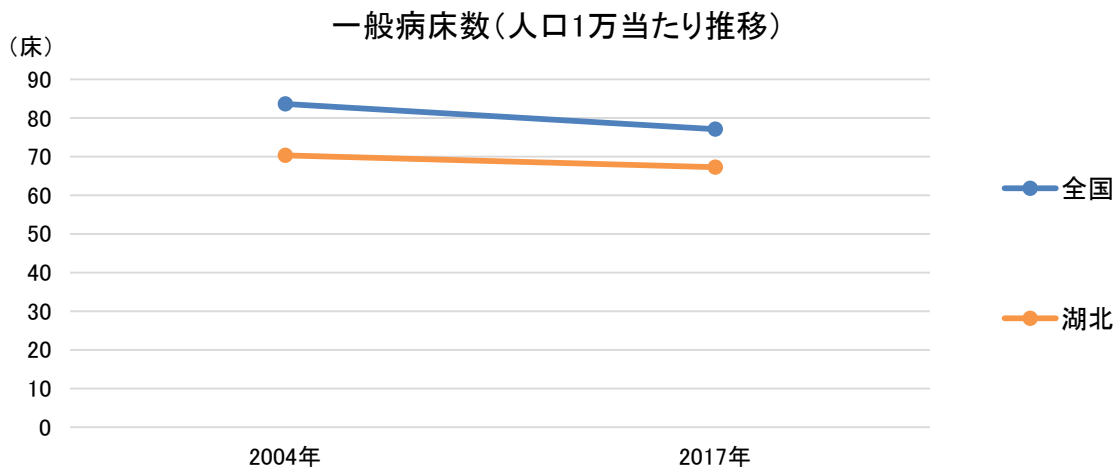
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が294人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に287人(人口10万人当たり183人(全国平均240人)偏差値44)と、7人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



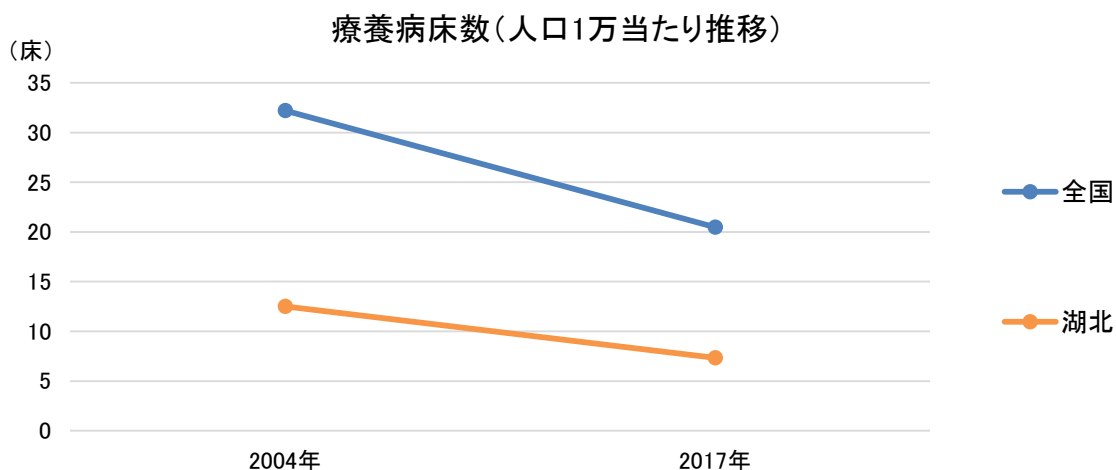
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,164床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2017年に1,056床(人口1万人当たり67(全国平均77)偏差値46)と、108床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

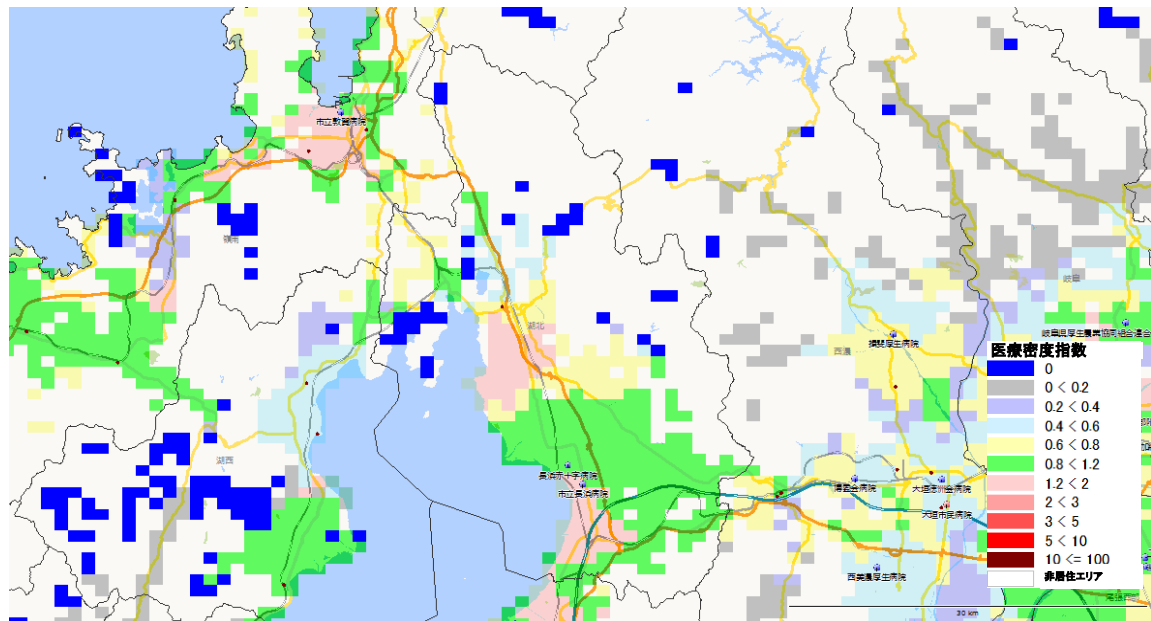
2004年の療養病床(病院+診療所)が227床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に161床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、66床の減少、率にして29%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。





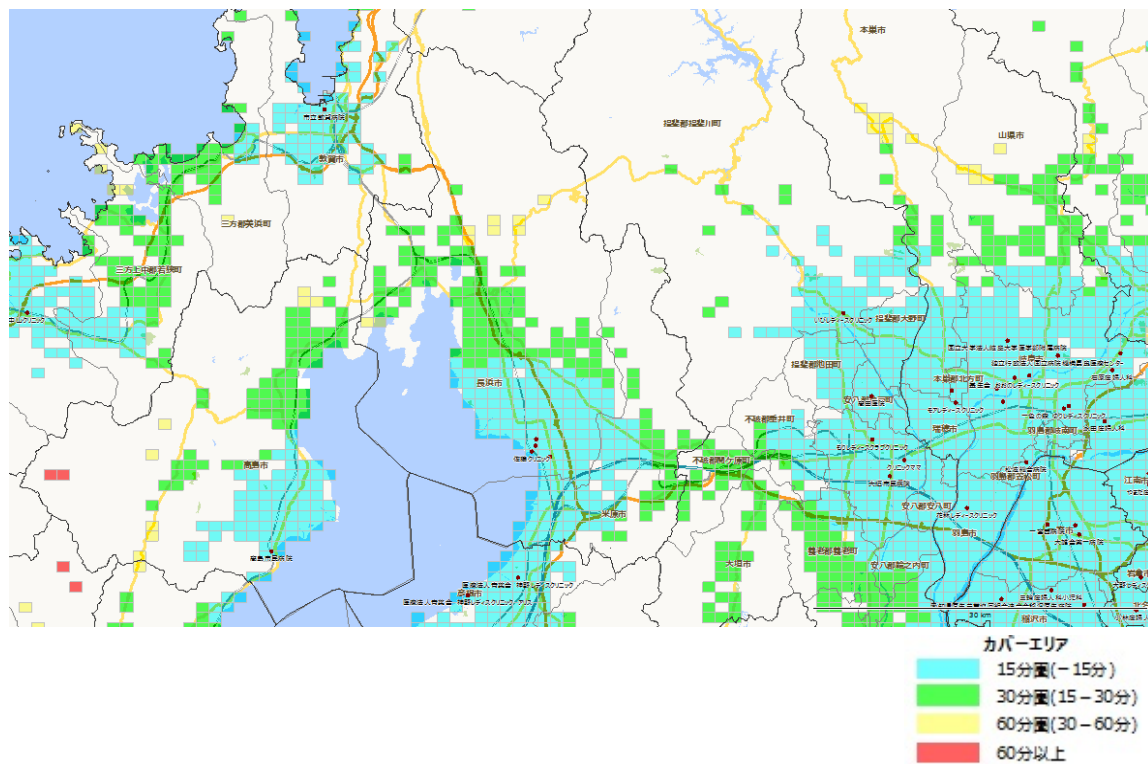
## (湖北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

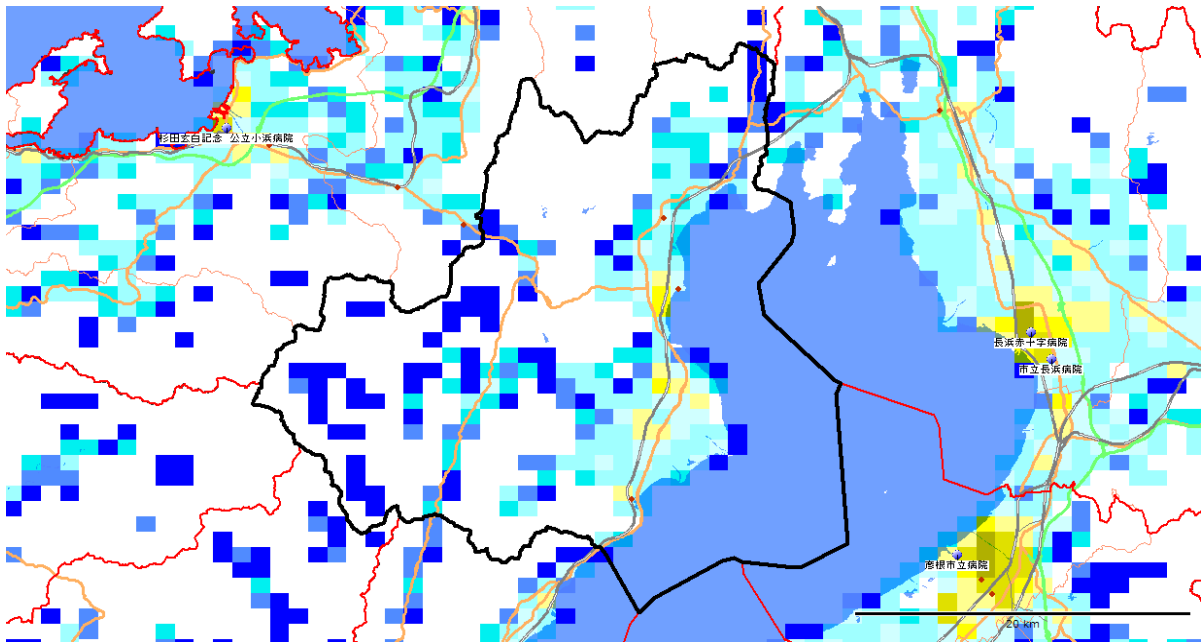


# 25-7. こ せ い 湖西医療圏

構成市区町村 [高島市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (湖西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 湖西(高島市)は、総人口約50千人(2015年)、面積693km<sup>2</sup>、人口密度は72人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 湖西の総人口は2025年に45千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて10千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には10千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 湖西の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値52)、介護給付費は258千円(偏差値52)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 湖西の一人当たり急性期医療密度指数は0.54、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。湖西には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 湖西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、660人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が500床(偏差値49)、高齢者住宅等が160床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、634人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、61人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-42%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湖西医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

湖西医療圏の総人口は、2005年53,950人が、2015年に50,025人と7%減少し、2025年の人口が44,616人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

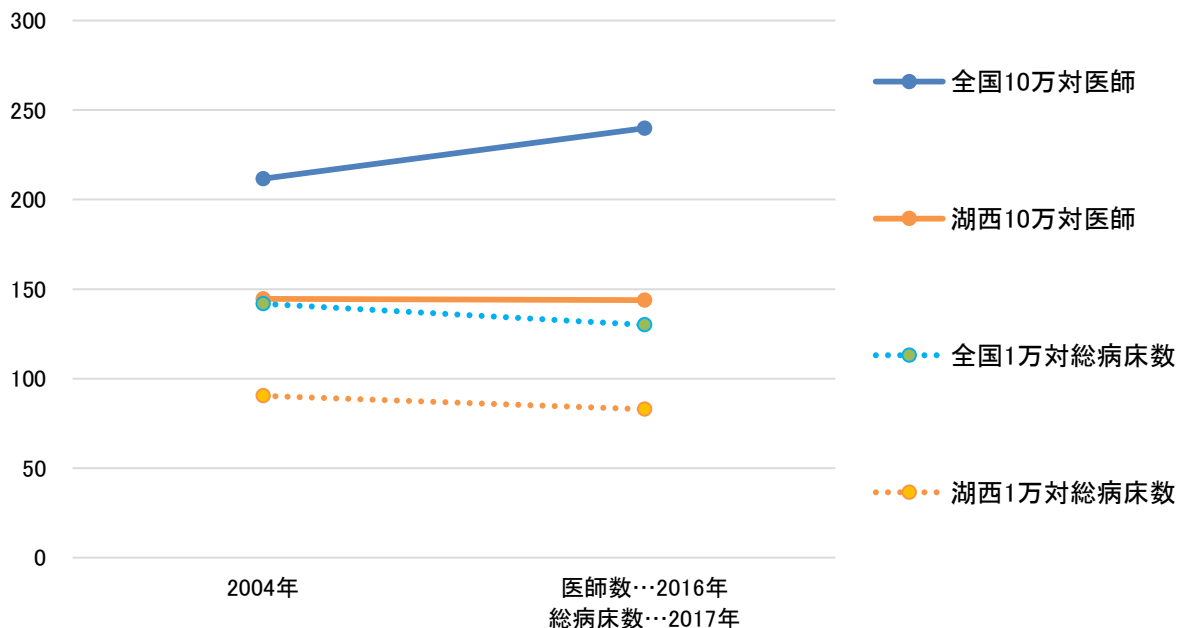
2004年の病院数が3(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に3(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が42(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に38(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が488床(人口1万人当たり90(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に415床(人口1万人当たり83(全国平均130)偏差値41)と、73床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

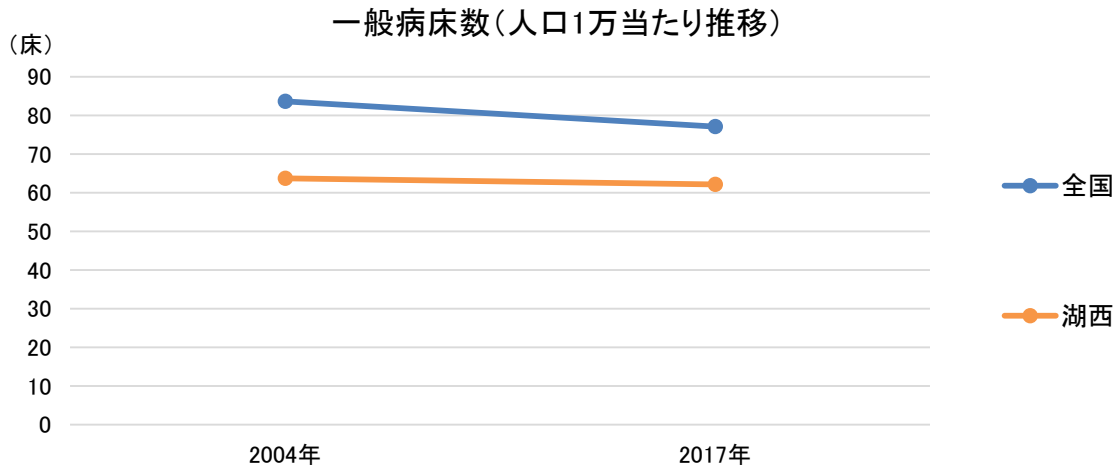
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が78人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に72人(人口10万人当たり144人(全国平均240人)偏差値39)と、6人の減少、率にして8%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



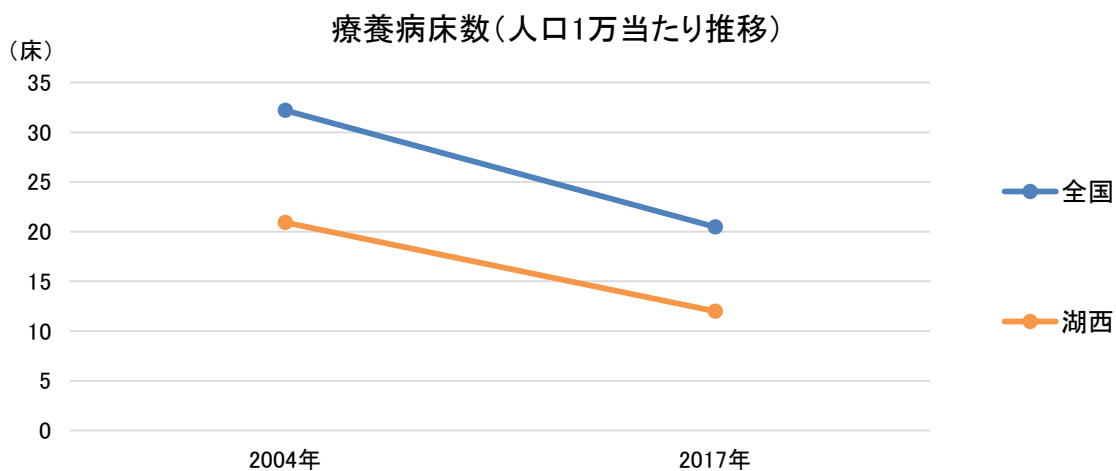
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が344床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に311床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、33床の減少、率にして10%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



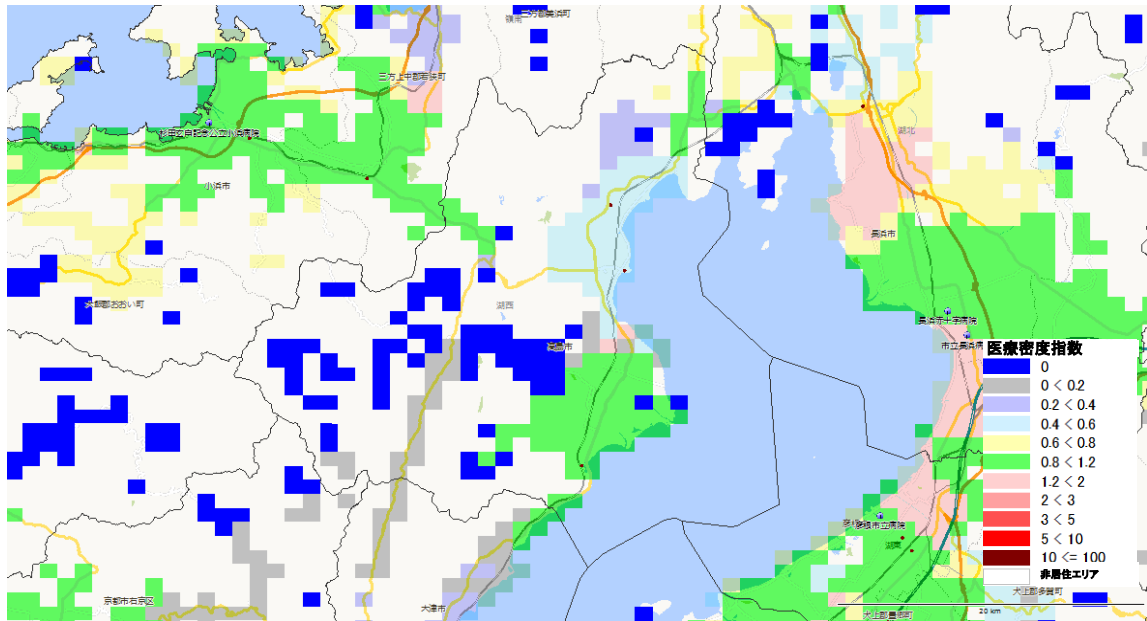
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が140床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に100床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値43)と、40床の減少、率にして29%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(湖西医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-7-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

